



體育 富強 之基

NITTAI

BASEBALL CLUB



日本体育大学
野球部・OB会
公式アプリを
リリースします



いますぐアプリを
手に入れよう！

🔍 日本体育大学野球部・OB会で検索



Home Page

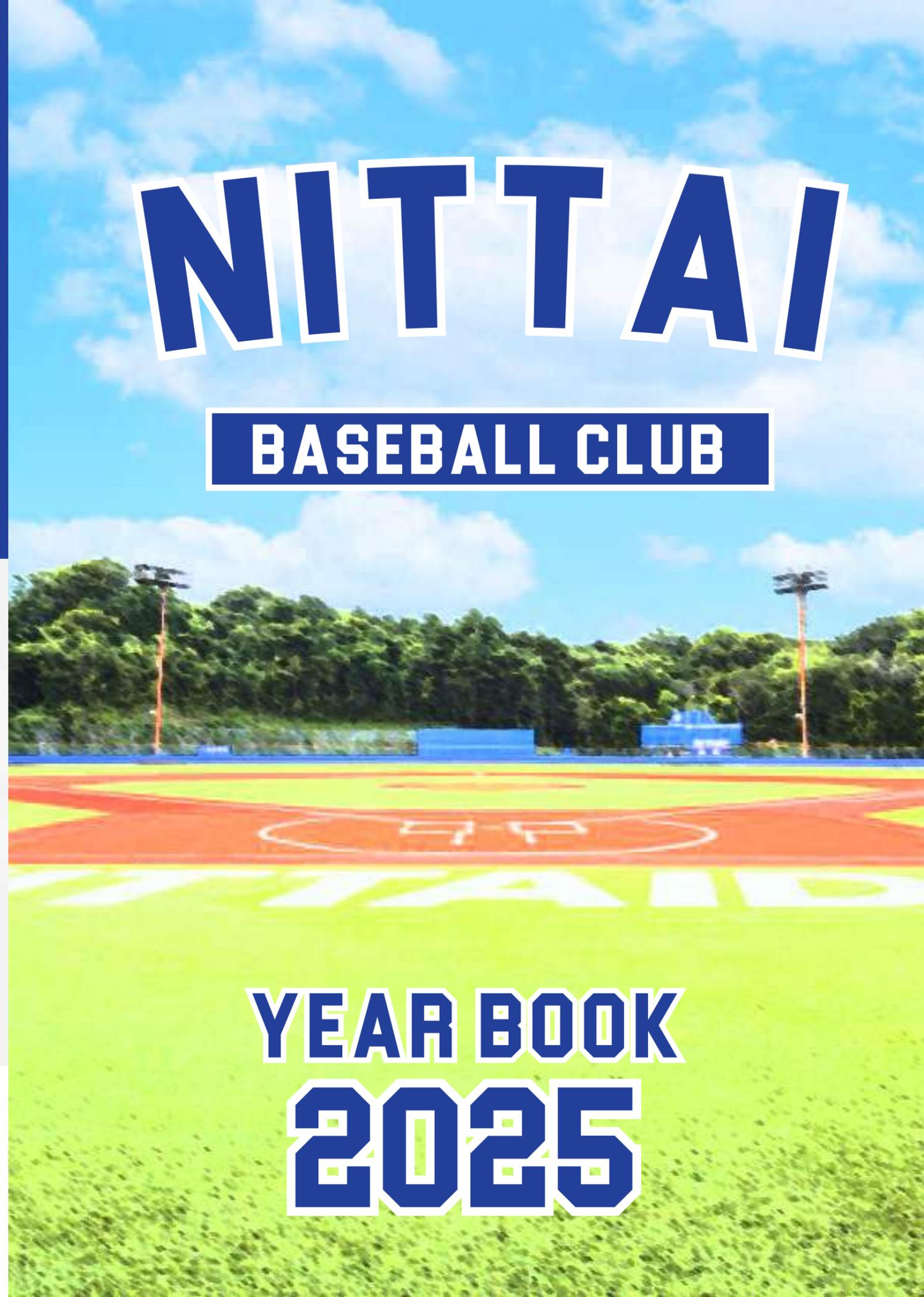
YouTube



日本体育大学

NIPPON SPORT SCIENCE UNIVERSITY BASEBALL CLUB

YEAR BOOK 2025



01	ご挨拶
	・OB会長挨拶
	・硬式野球部 部長挨拶
03	監督挨拶
05	注目選手
	05 馬場拓海
	07 鈴木斗偉・酒井成真
	09 谷口翔生・伊藤匠
11	スタッフ・部員紹介
	11 スタッフ、4年生
	13 3年生、2年生
	15 1年生
16	首都大学リーグ 春季リーグ戦
	17 第1節 VS 武蔵大学
	19 第2節 VS 帝京大学
	21 第3節 VS 城西大学
	23 第4節 VS 東海大学
	25 第5節 VS 筑波大学
	27 春季リーグ戦 総括
28	首都大学リーグ 秋季リーグ戦
	29 第1節 VS 武蔵大学
	31 第2節 VS 東海大学
	33 第3節 VS 城西大学
	35 第4節 VS 筑波大学
	37 第5節 VS 帝京大学
	39 秋季リーグ戦 総括
41	健志台野球場 寮紹介
45	日体大データ、OB会からの知らせ等



「つながりと再起、そして挑戦の年へ」

日本体育大学 硬式野球部OB会
会長 黒田 次郎

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、野球部OB・OGの皆さまに格別のご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。新しい年を迎えるにあたり、OB会長として一言ご挨拶申し上げます。

昨年の野球界を振り返りますと、メジャーリーグではロサンゼルス・ドジャースが見事に2連覇を達成し、その圧倒的な戦いぶりに多くの野球ファンが胸を熱くした一年でした。そして2026年には、4年に一度の世界野球の祭典「WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）」が開催されます。日本代表の活躍にも大いに期待がかかるところであり、野球が再び国民的な話題となる年になることでしょう。

私たちの母校野球部につきましては、残念ながら昨年度は思うような成績を残せず、悔しいシーズンとなりました。しかしながら、新年度の入学予定者には有望な選手が揃っており、そこに現役部員たちの地道な努力と情熱が合わされば、チームとしての再建に大いに期待が持てます。OB一同の熱い声援と支援を力に、今年こそはリーグ戦優勝、

そして全国大会での日本一をぜひとも実現してほしいと願っております。

また、OB会活動についてもより一段の活性化を図りたいと考えております。

昨年度は北信越および九州ブロックのOB会に参加させていただき、地域ごとの絆の強さと温かい交流の輪を実感いたしました。今年度は、北海道から九州までの9ブロックそれぞれで、地区ごとにOB・OGが集まり語り合える機会を設けていただければと願っております。世代を超えて母校野球部への思いを共有し、現役への支援の輪を広げてまいりましょう。

本年もOB・OGの皆さまのご健康とご多幸、そして母校野球部の更なる飛躍を心よりお祈り申し上げます。

どうぞ本年も変わらぬご支援とご協力のほど、よろしくお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

日本体育大学 硬式野球部
部長 波多腰 克晃

新年明けましておめでとうございます。謹んでOB会の皆さまに新春のご挨拶を申し上げます。日頃より私たち現役野球部の活動に対し、物心両面からの温かなご支援とご助言を賜り、部を代表して心より感謝申し上げます。選手の試合のユニフォーム姿をみるたびに代々の先輩方が築き上げてこられた歴史と伝統の重みを強く感じ、私たちもその一端を未来へとつなぐ責任の大きさを実感しております。

昨年を振り返りますと、チームとして多くの挑戦を経験した一年でした。日々の練習を積み重ねてきましたが、試合では思うように力を発揮できず悔しさが残る場面もありました。その一方で、粘り強さや試合をつくる意識の向上など、確かな成長も感じられました。その経験から「勝つために何が必要か」を今年の部員に引き継がれたことと思います。

本年は、昨年までの取り組みをさらに発展させ、技術面の向上はもちろん、チーム全体の意識改革にも力を注いでまいります。部員一人ひとりが主体性を持ち、自ら考え行動できる組織を目指し、練習への向き合い方から生活態度まで、より高い基準を設定して取り組んでいく所存で

す。また、試合においても守備の安定と攻撃の多様化を図り、「観ていただける方に誇れる野球」を実現したいと考えております。

OB会の皆さまには、練習環境の整備や差し入れ、そして試合会場での温かい応援など、数え切れないほどのご支援をいただいております。私たちが全力で野球に打ち込めるのは、皆さまのお力添えあってのことです。部員一同、その恩に報いるべく、日々の練習から全力を尽くし、結果という形で皆さまに少しでも良いご報告ができるよう努力を重ねてまいります。

本年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお祈り申し上げます。OB会の皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

古城隆利



日本体育大学 野球部 監督

古城隆利 Kojo Takatoshi

日本体育大学 スポーツマネジメント学部 准教授
日田高校—日本体育大学—いすゞ自動車株式会社—
日本体育大学大学院

新たなスタート

日頃より野球部の活動に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨シーズンは、3年ぶりにリーグ優勝を逃すという大変悔しい結果となりました。応援してくださいといる多くの皆さまの期待にお応えすることができず、心よりお詫び申し上げます。

優勝を狙える戦力は十分に整っておりましたが、春季リーグでは、勝ち点を挙げられ4点差を逆転される痛恨の敗戦を喫し、優勝を逃す結果となりました。

また、秋季リーグでは再び優勝を目指しチームの立て直しを図りましたが、私の指導が部員に対して不適切なものとなり、チームの力を十分に引き出すことができませんでした。その結果、2シーズン連続で3位に終わり、関東大学選手権大会への出場も果たせませんでした。部員の皆さん、そして日頃より応援してくださいといる皆さまに、改めて深くお詫び申し上げます。今シーズンのチームは、投手陣・野手陣ともに力のある選手が揃い、巻き返しを図る準備が整っております。

投手陣では、昨秋に最優秀投手賞を受賞した馬場拓海（4年・福大大濠）をエースとして大いに期待しております。続く投手として、高校時代に侍ジャパンU18代表を経験した生盛重勇太（4年・興南）、昨秋のリーグ戦で150mを記録した左腕・

西平晴人（4年・近大付属）、速球を武器に成長著しい松尾尚哉（3年・福大大濠）などの活躍にも期待が膨らみます。このメンバーが実力を発揮できれば、非常に楽しみな投手陣となるはずです。

一方、野手陣は、下級生の頃から中軸を担い、U18代表も経験した鈴木斗偉（4年・山梨学院）、4番として打線を牽引する酒井成真（4年・東海大菅生）、昨年のリーグ戦で勝負強さを見せキャプテンに就任した谷口翔生（4年・東海大相模）、高打率と機動力に期待の小林聖周（3年・浦和学院）、才田和空（2年・東海大相模）、昨秋のリーグ戦で初スタメンながら本塁打を放ち強いインパクトを残した高橋賢臣（4年・西条）・西田涼起（3年・明石商）など、勢いと実力を兼ね備えた選手が揃っています。経験豊富な上級生と、成長著しい下級生が一体となり、厚みのある打線を形成できると確信しております。

私自身、昨年の指導を深く反省し、今シーズンは「選手の力を最大限に引き出すこと」を第一に、練習環境、声かけ、戦略面などあらゆる部分を見直しております。選手が持てる力を存分に発揮できる雰囲気づくりに努め、チームとして最大の成果を出せるよう、スタッフ一同全力で取り組んでまいります。

必ずや皆さまのご支援に結果でお応えできるよう、チーム一丸となって戦い抜きます。本年も変わらぬご声援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

馬場 拓海

BABA
TAKUMI

目指すのは、日本一。
そして、負けない投手。

日体大を選んだ理由

私が日体大を進学先として選んだ一番の理由は、「怪我を抱えた自分を理解してくれる大学」だと感じたからです。高校時代、手術を経験し、思うように投げられない時期がありました。競技を続けたい気持ちは強くありましたが、焦りは禁物だということも自分自身で分かっていました。そんな中で日体大は、今すぐの結果ではなく、将来を見据えてくれました。「大学三年生から投げられればいい」「急がなくていい」という言葉をかけてもらったことが、何より心に残っています。競技者としてだけでなく、一人の学生として、長い目で見てくれる環境だと感じ、この大学でならもう一度しっかりと野球に向き合えると思いました。

昨シーズンを振り返ると、個人としては一定の成果を出すことができたと感じ

ています。数字だけを見れば、これまで積み重ねてきた練習や取り組みが形になったシーズンだったと思います。ただし決して満足しているわけではありません。来年はこの成績を超えることが、自分に課した最低限の目標です。

一方で、チームとしてはリーグ3位という結果に終わりました。決して悪い順位ではありませんが、目指していた場所には届きませんでした。その悔しさは今でも強く残っています。だからこそ、「自分ももっとチームの勝利に直結する投手にならなければならぬ」と強く感じました。勝敗を左右する場面でマウンドを任せられ、そしてチームを優勝へ導ける存在になること。それが次のシーズンに向けた大きな課題です。

来シーズンの最大の目標は、リーグ戦優勝、そして日本一です。そのために、個人としても明確な目標を掲げていま

す。ベストナインや最優秀選手賞といったタイトルを狙える投手になること。そのレベルに到達しなければ、チームを頂点へ導くことはできないと思っています。

また、完投できる投手になることも大きなテーマです。試合を最後まで任せられるスタミナ、集中力、そして精神的な強さを身につけ、「この投手が投げているら負けない」と思ってもらえる存在になる。そのために、日々の練習から一球一球を大切に、自分自身を追い込んでいきたいと考えています。

自分の武器は、

磨き続けてきた真っ直ぐ

自分の選手としての最大の長所は、力強い真っ直ぐです。大学に入ってから、まず取り組んできたのが、この真っ直ぐの質を上げることでした。球速だけでなく、回転数やキレ、コースへの投げ分けなど、細かい部分まで意識しながら磨いてきました。

昨シーズンのリーグ戦でも、その真っ

直ぐがあったからこそ変化球が生き、打者と勝負できたと感じています。自分の投球の軸は、常に真っ直ぐです。この武器をさらに高いレベルに引き上げること、どんな打者にも真っ直ぐから立ち向かえる投手になりたいと思っています。

チームの勝利のために、

自分ができること

チームに貢献するために一番大切なのは、自分自身の実力を上げ続けることだと思っています。来シーズンは、どんな形でも「0点に抑える」投球を目指します。そのために、四死球を減らし、無駄なランナーを出さないことを徹底したいと考えています。

派手な投球よりも、確実に試合を作り、流れを相手に渡さない投手になること。その積み重ねが、チームの勝利につながるはず。自分がマウンドに立つことで、チームが前向きになり、勝利へ向かう。そんな存在になるために、これからも努力を惜みず、日体大のユニフォームに誇りを持って腕を振り続けます。



馬場 拓海 / BABA Takumi

体育学部3年 / 福岡県福岡大大濠高校出身 / 2004年12月20日生まれ / 身長184cm / 体重82kg / 投手 / 投打 / 右 / 右



酒井 成真 SAKAI Shoma
 体育学部3年 / 東京都 東海大菅生高校出身 2005年1月20日生まれ
 身長180cm 体重90kg 外野手 投打：右・右

四番を任された責任を、
 日本一という結果で返すために

酒井 成真

SAKAI
 SYOMA

当時の野球を続けるか迷っていた時期に、古城監督からかけていただいた言葉が、私の進路を大きく変えました。真剣に向き合い、熱く語ってくださったその言葉に背中を押され、「もう一度、本気で挑戦したい」と強く思い、日体大への進学を決意しました。昨シーズンは、チームとしても個人としても非常に悔しい一年でした。リーグ優勝、日本一という目標には届かず、個人としても四番を任せてもらいながら、期待に応える結果を残すことができませんでした。特に、上級生でありながら練習や日常の中でチームを引っ張る存在になれず、四年生に負担をかけてしまったことは、自分の責任として強く反省しています。

来シーズンの目標は、日本一です。キャプテン谷口を中心に、これまでの先輩方が築いてきた良き伝統は大切にしながら、時代に合わないものは捨て、新しいチームをつくっていきたくと考えています。個人としては、走・攻・守すべてにおいて隙のない選手になることを目指し、特に打撃ではチャンスで結果を出せる勝負強い打者として、チームを勝利へ導く存在になりたいです。

自分の強みは、長打で試合の流れを変えられることです。二塁打やホームランでチームに勢いをもたらせる反面、今シーズンは確実性に欠ける部分もありました。来シーズンはその課題と向き合い、より信頼される打者へ成長したいと思います。最高学年として自己犠牲を惜しまず、先輩方の思いも背負い、谷口の代で必ず日本一をつかみ取ります。また、日々チームを支えてくれている学生コーチの存在にも感謝し、その思いを結果で示していきたいです。



鈴木 斗偉 SUZUKI Toy
 体育学部3年 / 山梨県 山梨学院高校出身 2004年11月22日生まれ
 身長178cm 体重82kg 内野手 投打：右・左

後輩に残すのは、
 言葉ではなく、勝利への姿勢

鈴木 斗偉

SUZUKI
 TOY

日体大は野球に本気で打ち込むための環境が、これ以上ないほど整っていると感じました。全面人工芝のグラウンドをはじめ、野球部専用のウエイト場、大学全体で使用できる充実したトレーニング施設が整っており、日々高い意識で野球と向き合える環境があります。また、三つ上の相澤さんの人間性や、後輩を思いやり行動されていた小吹さんの姿など、尊敬できる先輩方の存在も進学を決めた理由の一つです。人間としても大きく成長できると感じました。

昨シーズンは、春季リーグ戦で長打を意識しすぎたことでスイングが大振りになり、ミスショットが増えてしまいました。しかし夏の練習期間に古城監督から助言をいただき、バットのヘッドを寝かせ、足の上げ方をシンプルにするフォームへ修正しました。基本に立ち返り一つひとつの動作を見直したことで、秋季リーグ戦では安定した打撃を発揮できるようになりました。

一方で、現状に満足しているわけではありません。今後は逆方向への長打率を高め、配球や状況に左右されず結果を残せる打者になることが課題だと感じています。

来シーズンの目標は、チームとして日本一を成し遂げることです。最上級生として、これまで先輩方から学んできた姿勢や取り組みを後輩へ伝え、練習や試合、日常の行動を通してチーム全体の底上げに貢献したいと考えています。個人としては首位打者の獲得、ワンシーズン本塁打10本以上を目標に掲げています。自分の強みは、堅実で安定した守備力と、勝負どころで結果を出せる勝負強さです。二遊間を任された経験を生かし、プレーや声かけでフィールド内に良い影響を与え、打撃では要所で打点を挙げることで、チームを勝利へ導いていきます。



MANAGER
伊藤 匠
 ITO TAKUMI
 スポーツマネジメント学部3年
 神奈川県 桐蔭学園高校出身
 2004年11月3日生
 座右の銘：
 覚悟がなければ道は開かない

日体大に進学した理由は、高校の先輩である門馬さんが日体大に進学したことで、私もレベルの高い環境で野球に挑戦したいと思ったからでした。

昨シーズンは、最も反省している点は長打が少なかったことです。チャンスの場面で、もう一本打ってれば、試合の流れを大きく変えられた場面もあったと思います。自分が打てば、チームに勢いが生まれ、得点もさらに重ねられたはず。その「もう少しできたはずだ」という悔しさが、今の自分を動かす原動力になっています。

来シーズンはキャプテンを務めます。だからこそ、自分の成績だけに目を向けるのではなく、何よりも「チームが勝つこと」を第一に考えてプレーしていきたいと思っています。勝つために必要な役割を自分が担うのであれば、打撃でも守備でも、泥臭いプレーでも構いません。自分がどうすればチームが前に進めるのかを常に考え、行動できる主将でありたいと考えています。自分の選手としての強みは、得点圏にランナーがいる場面で「絶対に返してやる」という強い気持ちを持って打席に立てるところだと思っています。その覚悟が、集中力を高め、結果につながってきました。来シーズンは、その気持、だけでなく、確実性と長打力を兼ね備えた打撃を身につけ、勝負を決められる打者へと成長していきたいです。

キャプテンとして、これからは自分よりもチームを優先する存在になります。仲間への声に耳を傾け、時には先頭に立ち、時には一歩引いて支える。チームのために働ける選手であることが、主将としての最大の役割だと思っています。日体大野球部が一つになって勝利をつかめるよう、全力でチームを引っ張っていきます。



CAPTAIN
谷口 翔生
 TANIGUCHI SHO
 スポーツマネジメント学部3年
 神奈川県 東海大相模高校出身
 2004年12月9日生
 身長176cm 体重83kg 外野手
 投打：右・右
 座右の銘：一日一生

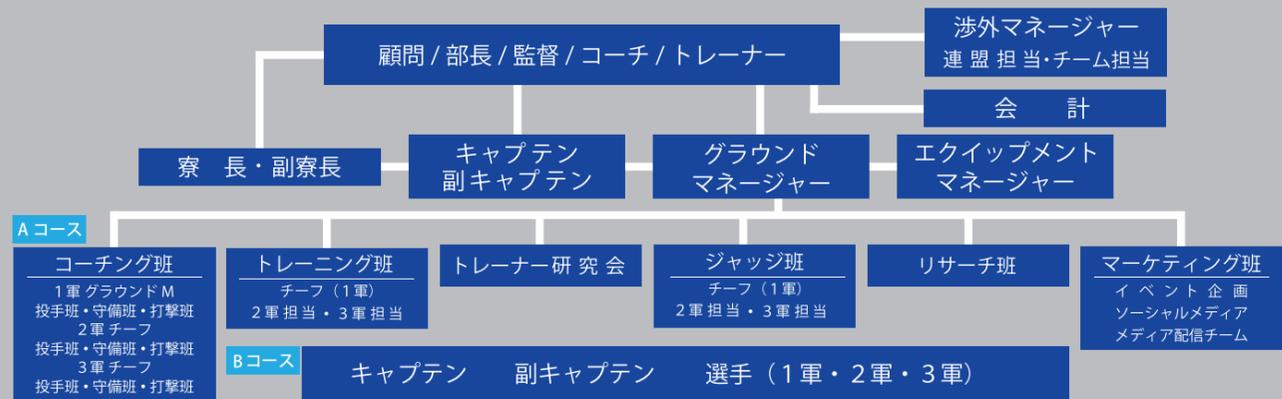
高校時代、最後の夏にレギュラー番号をもらえましたが、グラウンドに立つ機会は訪れず、チームも県大会で敗退しました。あの夏に残ったのは、自分自身への悔いとやり切れなさでした。その経験から、もう一度本気で「日本一」を目指す場所、自分のすべてを懸けて野球に向き合いたいと考え、日体大野球部への進学を決意しました。

昨シーズンは、選手として戦力外を告げられるという大きな挫折を味わいました。チームとしても春・秋ともに3位に終わり、結果として残ったのは悔しさだけだったと思います。約300人の部員がいる中で、「本気で日本一になる覚悟」を持っていった人間がどれほどいたのか。その問いが、今も自分の中に強く残っています。

来シーズンの目標は、リーグ戦優勝、そして日本一ではありません。そのために、勝てる集団をつくるのが自分の使命だと考えています。六大学や東都の強豪に「並ぶ」のではなく、「超える」存在になる。その覚悟を、グラウンドに立つ選手だけでなく、スタンドで応援する仲間、支えるマネージャーや学生コーチ全員で示していきたいと思っています。

私の長所は、常に前向きな言動でチームの士気を高められることです。厳しい状況でも感情に流されず、責任ある行動で仲間を支え、勝利のために何が必要かを考え続けたいと思っています。表に立つことはなくとも、選手が迷いなく戦える環境を整え、準備と判断の質に一切妥協せず、「勝つための土台」を支える存在として、日体大野球部の日本一に貢献していきます。

日本体育大学硬式野球部 組織図



・吉本亮
(御坊商業高エース、広島カープ、近畿バックス、フアローズ、広島カープ、阪神タイガース、ホンダ鈴鹿)

・平野智基
(鳥栖高、日体大、三響重工長崎、三響日立八、ワシントン)

54 コーチ  添田 聖真 SOEDA MASATO 栃木/作新学院高一日体大-作新学院大コーチ	51 コーチ  辻 孟彦 TUJI TAKEHIKO 京都/京大外大西高一日体大-中日-日体大大学院	55 助監督  黒木 豪 KUROKI GO 神奈川/横浜高一日体大	56 ヘッドコーチ  鈴木 肇 SUZUKI HAJIME 茨城/土浦三一日体大-東芝	50 監督  古城 隆利 KOJO TAKATOSHI 大分/日体高一日体大-いすゞ自動車-日体大大学院	 波多腰克晃 HATAKOSHI KATSUJAKI 長野/松商学園高一日体大-日体大大学院
--	--	--	--	--	--



SENIOR

PITCHER 18、CATCHER 6、INFIELDER 16、OUTFIELDER 7、STUDENT COACH 26、MANAGER 4
TOTAL 77

ポジション	名前	学部	身長	体重	打	投	高校名	ポジション	名前	学部	身長	体重	打	投	高校名
投手	赤木 利政	スポマネ	183	84	左	左	彦岐	内野手	門馬 功	体育	172	81	右	右	東海大相模
投手	飯田 裕貴	スポマネ	177	82	右	右	履正社	外野手	上田 琉久	スポマネ	183	91	右	右	東邦
投手	池田 史音	体育	185	100	右	右	横浜商科大学	外野手	上原 雅希	体育	167	68	右	右	日体大柏
投手	池本 琳	保健医療	180	85	右	右	東海大相模	外野手	岡本 隼栄	スポマネ	170	78	右	左	多摩大目黒
投手	伊藤 大稀	体育	184	88	右	右	智辯和歌山	外野手	黒川 怜遠	スポマネ	174	80	左	左	星稜
投手	岡田 凜太郎	体育	179	79	左	左	日体大柏	外野手	野中 駿哉	スポマネ	172	78	右	右	健大高崎
投手	コシノオノハヤシ アダムカワ	体育	187	80	右	右	日体大柏	外野手	横田 創介	体育	183	90	左	左	羽水
投手	澤田 太陽	体育	179	75	右	右	桐蔭学園	外野手	森田 空	体育	173	74	右	右	智辯学園
投手	設楽 旺太	体育	181	78	右	右	能代	学生コーチ	相原 陸	体育					花咲徳栄
投手	篠原 颯斗	体育	183	85	右	右	徳島県立池田	学生コーチ	浅野 綜一郎	体育					藤代
投手	関戸 康介	体育	177	81	右	右	大阪桐蔭	学生コーチ	伊藤 恒義	体育					日体大柏
投手	戸田 晴樹	体育	182	81	右	右	名城大附	学生コーチ	岩永 真拓	体育					九州学院
投手	中山 太一	体育	182	91	右	右	桐光学園	学生コーチ	大田 泉陽	スポマネ					明石商
投手	中嶋 航	体育	177	71	左	左	群馬県立富岡	学生コーチ	木下 仁緒	スポマネ					小松大谷
投手	松田 隆之介	体育	178	77	右	右	仙台育英学園	学生コーチ	金原 大成	体育					神奈川県立白山
投手	松本 大河	スポマネ	170	70	右	左	日大三	学生コーチ	久保 陽太郎	スポマネ					明石商
投手	安川 幹大	スポマネ	182	74	右	右	帝京	学生コーチ	栗屋 優作	スポマネ					ルーテル学院
投手	フナリジャヤイシメール	体育	180	79	右	右	京都外大西	学生コーチ	小池 克英	体育					明石商
捕手	岩田 優真	体育	176	72	右	右	立花学園	学生コーチ	澤本 健太郎	体育					浜松日体
捕手	木村 航大	体育	170	78	右	右	仙台育英学園	学生コーチ	塩見 健太	体育					玉野光南
捕手	高橋 一輝	スポ文	181	83	右	右	横浜隼人	学生コーチ	清水 一寿	体育					埼玉県立川口
捕手	田邊 広大	体育	174	80	右	右	常総学院	学生コーチ	杉本 大河	体育					浜松湖北佐久間
捕手	前田 耀太	体育	175	76	右	左	帯広緑陽	学生コーチ	武智 皓亮	体育					創志学園
捕手	安田 和輝	体育	176	78	右	右	日大三	学生コーチ	田村 玲雄	スポマネ					新潟産大附
内野手	岩田 一真	体育	173	70	右	右	東海大菅生	学生コーチ	辻村 虎之介	体育					青森南
内野手	大城 宗慶	体育	170	69	右	右	沖縄水産	学生コーチ	年見 亮汰	体育					宮崎南
内野手	岡田 敏樹	体育	175	75	右	右	静岡学園	学生コーチ	長坂 龍馬	体育					旭川東
内野手	木原 涼太	体育	174	84	右	右	桐蔭学園	学生コーチ	長崎 恵大	体育					富山県立桜井
内野手	古宮 幹大	スポマネ	184	82	右	右	藤代	学生コーチ	中嶋 龍之介	スポマネ					麗澤瑞浪
内野手	島田 敦生	体育	170	63	右	左	成東	学生コーチ	中家 学人	スポマネ					育徳館
内野手	島貫 丞	体育	170	74	左	左	仙台育英学園	学生コーチ	真弓 凌太郎	スポマネ					横浜商科大学
内野手	杉浦 泰文	体育	165	65	右	左	中京大中京	学生コーチ	三好 慶明	体育					高松西
内野手	鈴木 颯	体育	172	68	右	左	浜松日体	学生コーチ	村上 健治	体育					伊豆中央
内野手	高野 豪	体育	174	74	右	右	原町	学生コーチ	山盛 海輝	スポマネ					静岡西
内野手	延末 勳太	体育	178	81	右	右	横浜	マネジャー	末永 日向	体育					日体大柏
内野手	橋本 唯塔	体育	170	70	右	左	東海大菅生	マネジャー	田中 えりい	スポマネ					横浜商
内野手	引地 幹太	スポマネ	175	80	左	左	創成館	マネジャー	北條 真莉花	スポマネ					市立橋
内野手	深澤 大和	スポマネ	167	70	右	左	葦山	マネジャー	宮脇 琴野	体育					藤枝東
内野手	宮崎 智生	スポマネ	174	70	右	左	福井商								

◆ 2025 年度役員 ◆

役職名	氏名	学年	出身校
キャプテン	黒川 怜遠	4	星稜
副キャプテン	伊藤 大稀	4	智辯和歌山
	田邊 広大	4	常総学院
	門馬 功	4	東海大相模
	大海 然	3	佐野日大
渉外マネージャー	北條 真莉花	4	市立橋
グラウンドマネージャー	末永 日向	4	日体大柏
コーチング(一軍野手)	杉本 大河	4	浜松湖北佐久間
コーチング(一軍投手)	久保 陽太郎	4	明石商
コーチング(二軍野手)	村上 健治	4	伊豆中央
コーチング(二軍投手)	塩見 健太	4	玉野光南
コーチング(三軍野手)	金原 大成	4	神奈川県立白山
コーチング(三軍投手)	三好 慶明	4	高松西
S&C	村上 健治	4	伊豆中央
リサーチ	大田 泉陽	4	明石商
ジャッジ	中家 学人	4	育徳館
メディア	伊藤 恒義	4	日体大柏
ドミー寮長	篠原 颯斗	4	徳島県立池田
健志台寮長	木田 皓貴	4	京都精華学園
連盟マネージャー	宮脇 琴野	4	藤枝東
会計	宮脇 琴野	4	藤枝東
Cコース	延末 勳太	4	横浜

◆ 2026 年度役員 ◆

役職名	氏名	学年	出身校
キャプテン	谷口 翔生	3	東海大相模
副キャプテン	玉城 陽希	3	横浜
	大海 然	3	佐野日大
	幸坂 征太郎	3	徳島商業
渉外マネージャー	佐藤 蒼希	3	国土館
グラウンドマネージャー	伊藤 匠	3	桐蔭学園
チームマネージャー	井島 亮太	2	東北
コーチング(投手チーフ)	川崎 奨英	3	明石商業
コーチング(投手チーフ)	小田部 夏行	3	浦和学院
コーチング(投手チーフ)	竹内 雄大	3	春日部共栄
コーチング(野手チーフ)	後藤 大樹	3	春日部共栄
コーチング(野手チーフ)	杉田 爽太郎	2	春日部共栄
S&C	原田 嵩馬	3	横浜
リサーチ	永井 颯介	3	袋井
ジャッジ	木田 皓貴	3	京都精華学園
メディア	大野 祐一郎	3	飯山
ドミー寮長	吉田 優飛	3	静岡高校
健志台寮長	原田 憲佑	2	波佐見



JUNIOR

PITCHER 16、CATCHER 7、INFIELDER 7、OUTFIELDER 15、STUDENT COACH 14、MANAGER 5

TOTAL 64

ポジション	名前	学部	身長	体重	打	投	高校名
投手	五十嵐 良太	スポマネ	195	78	右	右	日大藤沢
投手	石田 偉楓	体育	186	86	右	左	武田
投手	遠藤 稔平	体育	183	82	右	左	横浜創学館
投手	小田部 夏行	体育	182	86	右	右	浦和学院
投手	川井 泰志	体育	187	83	左	左	大阪桐蔭
投手	菊池 明博	スポマネ	172	73	右	右	八丈
投手	幸坂 征太郎	体育	171	85	右	右	徳島商
投手	渋谷 翔	体育					仙台育英
投手	生盛 亜勇太	体育	177	72	右	左	興南
投手	西平 晴人	体育	178	86	左	左	近大附
投手	馬場 拓海	体育	184	82	右	右	福岡大大濠
投手	堀 慶勝	体育	175	80	右	右	前橋育英
投手	マーガド 真偉輝キアン	体育	186	91	右	右	星稜
投手	宮川 大	体育	180	65	右	左	麻生
投手	茂呂 駿也	体育	171	67	右	左	日体大柏
投手	山中 麟翔	体育	178	78	左	左	クラーク記念国際
捕手	池田 太晴	体育	170	73	右	右	大分雄城台
捕手	海老根 大成	体育	165	71	右	左	常盤大学
捕手	近藤 祐星	スポマネ	180	81	右	右	高岡商
捕手	関根 嗣晃	体育	170	70	右	右	前橋商業
捕手	玉城 陽希	体育	173	73	右	右	横浜
捕手	永田 七成	スポマネ	170	79	右	右	智辯学園和歌山
捕手	茂木 颯吾	スポ文	172	74	右	右	目黒日本大学
内野手	福岡 俊太	体育	173	74	右	右	明石商
内野手	角谷 飛雅	体育	166	74	右	右	星稜
内野手	金丸 雄海	スポ文	180	85	右	右	横浜隼人
内野手	鈴木 斗偉	体育	175	78	右	左	山梨学院
内野手	高根 稜真	体育	170	74	右	右	札幌国際情報
内野手	中村 晋士	スポマネ	176	76	右	右	鳥取城北
内野手	渡邊 礼	体育	177	80	右	右	帝京
外野手	石崎 祥真	体育	167	72	右	右	日体大荏原
外野手	石山 柚	体育	178	78	右	左	東海大菅生

ポジション	名前	学部	身長	体重	打	投	高校名
外野手	伊藤 匠	スポマネ	180	80	右	右	桐蔭学園
外野手	大野 祐一郎	体育	176	75	右	左	飯山
外野手	大海 然	体育	175	77	右	左	佐野日大
外野手	酒井 成真	体育	175	78	右	右	東海大菅生
外野手	高橋 賢臣	体育	179	80	右	左	西条
外野手	田中 隼人	体育	173	75	右	右	常総学院
外野手	谷口 翔生	スポマネ	176	83	右	右	東海大相模
外野手	中上 息吹	体育	168	70	左	左	九州国際大付
外野手	根岸 慶	体育	183	78	右	左	仙台育英学園
外野手	野田 啓太	スポ文	180	82	右	右	筑陽学園
外野手	藤巻 一洸	体育	170	75	右	左	日大三
外野手	牧野 竜也	スポマネ	174	85	右	右	桐蔭学園
外野手	吉田 優飛	スポマネ	187	90	右	右	静岡
学生コーチ	小島 幸輝	体育					下館第一
学生コーチ	川崎 奨英	体育					明石商
学生コーチ	木田 皓貴	体育					京都精華学園
学生コーチ	倉田 悠暉	体育					浜松日体
学生コーチ	杉田 爽太郎	体育					春日部共栄
学生コーチ	杉田 峻	体育					日体大柏
学生コーチ	立石 歩	体育					法隆寺国際
学生コーチ	柘植 亮太	体育					日大櫻丘
学生コーチ	永井 颯介	体育					袋井
学生コーチ	長久 皓央	体育					南砺福野
学生コーチ	原田 嵩馬	体育					横浜
学生コーチ	樋口 雅人	体育					武蔵越生
学生コーチ	牧野 創	体育					羽水
学生コーチ	山口 寛人	体育					日体大柏
マネジャー	小野 愛華	スポマネ					高知西
マネジャー	佐藤 蒼希	スポマネ					国士館
マネジャー	佐藤 花音	スポマネ					金沢総合
マネジャー	佐藤 輝帆	児スポ					荏田
マネジャー	高瀬 心愛	保健医療					駒大苫小牧



SOPHOMORE

PITCHER 24、CATCHER 9、INFIELDER 21、OUTFIELDER 15、STUDENT COACH 3、MANAGER 6

TOTAL 78

ポジション	名前	学部	身長	体重	打	投	高校名
投手	石井 祥太	スポマネ	181	78	右	右	日体大荏原
投手	石塚 晃生	体育	178	80	左	左	浜松日体
投手	大前 遼馬	体育	173	78	右	右	明石商
投手	大山 英一郎	スポマネ	180	81	右	右	西武台
投手	大山 虎明	スポマネ	174	74	左	左	岡山学芸館
投手	木田 康介	体育	178	75	右	両	花咲徳栄
投手	小峰 瑠大	スポマネ	175	77	右	右	藤嶺学園藤沢
投手	坂本 寛樹	スポマネ	182	63	右	右	知立東
投手	櫻井 然	体育	169	69	右	右	鹿児島城西
投手	立川 晴太	体育	178	68	右	右	津久見
投手	田中 樹人	スポマネ	182	85	右	両	浦和学院
投手	永井 大惺	体育	173	82	右	右	岩瀬日大
投手	長瀬 達己	体育	178	78	右	左	桐蔭学園
投手	野極 工平	スポ文	171	70	右	左	桐蔭
投手	野呂 亮太	体育	187	84	左	左	弘前東
投手	林 祐作	スポマネ	191	87	右	右	大府
投手	平山 航多	スポマネ	173	73	左	左	興南
投手	藤岡 慎之祐	体育	184	86	右	右	東福岡
投手	前山 大輔	スポマネ	172	71	右	右	錦城学園
投手	町屋 憲伸	スポマネ	182	72	右	右	日南学園
投手	松尾 尚哉	スポマネ	183	85	右	右	福岡大大濠
投手	諸星 蒼空	スポマネ	175	78	左	左	常総学院
投手	山根 汰三	体育	174	70	右	右	鳥取商業
投手	横江 杏吹	スポマネ	181	80	左	左	高岡商業
捕手	金子 大翼	スポマネ	176	82	右	左	城郷
捕手	北島 蒼大	体育	172	75	右	右	東海大学菅生高等学校
捕手	田川 一心	スポマネ	176	75	右	右	海星
捕手	堂上 陸翔	体育	172	73	右	右	いなべ総合
捕手	中村 一翔	体育	183	86	右	左	日体大荏原
捕手	萩 颯太	体育	178	81	右	右	星稜
捕手	福原 輝大	体育	176	74	右	右	玉野光南
捕手	矢吹 歌汰朗	体育	176	76	右	右	福島東
捕手	吉田 真賢	スポ文	170	63	右	右	九産大九州
内野手	石垣 諒馬	スポマネ	173	72	右	左	いなべ総合
内野手	岩田 勝	スポマネ	174	79	右	左	誠恵
内野手	上田 晴	スポマネ	176	78	右	右	創志学園
内野手	尾木 佑	体育	175	78	右	右	比叡山
内野手	萩野 貴琉	スポマネ	165	85	右	右	西武台
内野手	金子 蒼生	スポマネ	170	65	右	右	前橋商業

ポジション	名前	学部	身長	体重	打	投	高校名
内野手	久保田 晃晟	スポマネ	172	74	右	右	前橋育英
内野手	笹井 知哉	スポマネ	175	78	右	右	大阪桐蔭
内野手	佐藤 海成	スポマネ	175	75	右	右	桐蔭学園
内野手	知名 泰希	体育	164	62	右	右	糸満
内野手	千葉 輝夏	スポマネ	167	68	右	右	日体大荏原
内野手	西田 涼起	体育	176	78	右	左	明石商
内野手	西山 テアゴ	スポマネ	174	72	右	両	ラウニオン
内野手	根本 拓弥	体育	176	69	右	左	郡山
内野手	長谷尾 達也	体育	172	78	右	左	佐賀商業
内野手	原田 憲佑	スポマネ	169	73	右	左	波佐見
内野手	升澤 来心	スポマネ	177	74	右	右	山北
内野手	水口 拓人	スポマネ	172	63	右	右	浦和麗明
内野手	門間 文	体育	173	73	右	右	東海大菅生
内野手	吉川 尚	スポマネ	185	85	右	右	藤嶺藤沢
内野手	渡邊 秀輔	体育	172	72	右	右	山形中央
外野手	阿部 駿樹	体育	175	74	右	右	日体大荏原
外野手	飯島 翼	体育	177	80	右	右	智辯学園
外野手	岩岡 幹太	体育	168	60	左	左	浜松日体
外野手	粕川 修一朗	体育	173	75	左	左	明和県央
外野手	川口 龍吾	体育	181	91	右	右	健大高崎
外野手	木村 浩之輔	スポマネ	180	95	右	右	明石商
外野手	喜屋武 拓真	体育	173	82	右	右	明豊
外野手	後藤 大樹	体育	170	68	右	右	春日部共栄
外野手	小林 聖周	体育	162	66	左	左	浦和学院
外野手	榊原 祐輝	体育	171	71	右	左	平塚学園
外野手	辻 樹人	体育	182	82	右	右	常葉菊川
外野手	榎垣 芳穂	体育	166	68	右	右	早稲田佐賀
外野手	福澤 真優	体育	173	74	右	左	立花学園
外野手	三浦 駿佑	体育	178	71	右	左	高松北
外野手	矢島 悠豊	スポマネ	172	70	右	両	日大藤沢
学生コーチ	全田 蒼月	スポマネ					東京都市大学塩尻
学生コーチ	竹内 雄大	体育					春日部共栄
学生コーチ	兵藤 海帆	スポマネ					藤村女子高校
マネジャー	井島 亮太	体育					東北
マネジャー	小山 敦也	スポマネ					武蔵越生
マネジャー	坂口 雅弥	スポマネ					九州学院
マネジャー	蛭川 颯	スポ文					桐蔭学園
マネジャー	小島 みどり	児スポ					立花学園
マネジャー	渡邊 麻央	スポマネ					捜真女学院



FRESHMAN

PITCHER 25、CATCHER 11、INFIELDER 18、OUTFIELDER 22、STUDENT COACH 5、MANAGER 5
TOTAL 86

ポジション	名前	学部	身長	体重	打	投	高校名	ポジション	名前	学部	身長	体重	打	投	高校名
投手	麻生 淳之介	体育	180	77	右	右	大宮東	内野手	清水 泰史	体育	168	63	右	右	武蔵丘
投手	飯島 健太	スポマネ	172	76	左	左	中京大中京	内野手	菅 俊輔	体育	177	73	右	右	麻生
投手	上田 純義	体育	176	87	左	左	柏原	内野手	高西 航輝	スポマネ	176	82	右	右	東海大菅生
投手	遠藤 翔太	体育	175	75	右	右	日体大柏	内野手	田中 幹太郎	体育	176	80	右	左	佐賀北
投手	岡村 宝	体育	190	76	右	右	高知商業	内野手	田中 朔太郎	スポマネ	168	70	右	右	海星
投手	上川 洋瑛	スポマネ	176	79	右	右	鶴嶺	内野手	茶木 吏道	スポマネ	174	65	右	左	駒大苫小牧
投手	黒岩 大翔	スポマネ	174	76	左	左	前橋育英	内野手	原 隼大	体育	168	65	右	右	暁星国際
投手	杉田 大翔	スポ文	170	69	右	右	桐陽	内野手	古海 勇歩	体育	178	75	右	左	北海
投手	田中 遙音	スポマネ	177	67	左	左	京都外大西	内野手	横井 将人	体育	183	83	右	右	駒場学園
投手	谷脇 健心	スポマネ	180	86	右	右	静岡高校	内野手	中村 虎汰郎	スポマネ	174	76	右	右	常総学院
投手	寺田 大晟	体育	171	73	右	左	日体大柏	内野手	山崎 永輝	保健医療	164	66	右	左	桐蔭学園
投手	戸田 雅翔	体育	169	73	左	左	日体大柏	外野手	緒方 士竜	体育	170	72	右	左	ルーテル学院
投手	菅井 航太郎	体育	168	77	右	右	仙台西	外野手	長田 雄大	体育	163	70	右	右	今治西
投手	中島 龍之介	体育	183	77	右	右	長野日大	外野手	亀谷 理仁	スポマネ	177	85	右	左	創志学園
投手	野原 英主	スポマネ	181	84	左	左	長崎商業	外野手	来田 遥人	体育	168	70	右	左	明石商
投手	原田 留維	体育	176	83	右	右	東福岡	外野手	北田 悠人	スポマネ	179	84	右	左	池田
投手	藤井 翔大	体育	179	75	右	右	明石商	外野手	島田 悠史	保健医療	170	60	右	左	東海大高輪台
投手	本田 能光	体育	180	82	右	右	豊川	外野手	高野 快	体育	172	68	右	左	原町
投手	松村 侑真	スポマネ	183	83	右	右	春日部共栄	外野手	高橋 晋希	体育	185	85	右	右	智辯学園
投手	茂呂 祥吾	体育	170	70	両	左	日体大柏	外野手	竹下 颯人	体育	174	72	右	右	御殿場西
投手	矢口 優翔	体育	180	78	右	左	八千代松陰	外野手	鶴田 大介	スポマネ	180	82	右	右	東北
投手	山田 恵悟	スポマネ	174	73	右	左	大宮東	外野手	虎見 真之介	スポマネ	170	64	左	左	日体大柏
投手	吉田 剣成	体育	177	95	左	左	立正大立正	外野手	中原 義虎	スポマネ	178	83	右	右	山梨学院
投手	吉田 健汰	体育	179	80	右	右	日体大荏原	外野手	野道 諒彌	スポマネ	173	74	左	左	敦賀気比
投手	小林 幹成	体育	174	70	右	右	敦賀気比	外野手	林 幸介	スポマネ	185	90	右	右	横浜
捕手	池端 大洋	スポマネ	170	72	右	右	大分舞鶴	外野手	松江 大輝	体育	176	77	右	左	桐光学園
捕手	岩間 大祐	体育	174	78	右	右	常葉大橘	外野手	三浦 一太	体育	174	70	右	右	平塚学園
捕手	近野 巧実	児スポ	167	69	右	右	山形中央	外野手	三村 正義	体育	174	85	右	右	秋田中央
捕手	後藤 龍太郎	スポマネ	172	71	右	左	創志学園	外野手	向田 想一郎	体育	172	74	右	右	本庄第一
捕手	庄司 智哉	体育	173	75	右	右	名取北	外野手	村長 郁樹	スポマネ	167	63	右	右	福山
捕手	高橋 直輝	スポマネ	174	83	右	右	大阪桐蔭	外野手	村上 幸哉	スポマネ	170	76	右	右	明石商業
捕手	谷口 真	スポマネ	173	81	右	右	宮崎商業	外野手	矢竹 開	スポマネ	170	75	左	左	桐光学園
捕手	田端 太貴	スポマネ	185	85	右	右	花咲徳栄	外野手	山下 脩太	体育	174	74	右	右	篠山鳳鳴
捕手	中尾 風人	体育	168	88	右	左	津西	学生コーチ	天下井 啓太	スポマネ					上尾
捕手	松浦 悠馬	体育	173	73	右	左	明石商	学生コーチ	江畑 莉栖	体育					桜井
捕手	山内 真南斗	スポマネ	170	73	右	右	明豊	学生コーチ	櫻井 圭	スポ文					目黒学院
捕手	井村 太陽	スポマネ	168	83	右	右	筑陽学園	学生コーチ	西村 健太郎	スポマネ					津和野
内野手	箕川 陽日	スポマネ	180	75	右	右	大阪桐蔭	学生コーチ	御幡 勇成	体育					立花学園
内野手	勝俣 柊星	スポマネ	172	70	右	左	東海大菅生	マネジャー	嬉野 泰知	スポ文					横浜隼人
内野手	川原 悠	体育	177	74	右	左	日体大柏	マネジャー	青木 ひなた	児スポ					藤代
内野手	才田 和空	スポマネ	172	73	右	右	東海大相模	マネジャー	雨宮 寧子	スポマネ					横浜商
内野手	齋藤 光風	スポマネ	179	65	右	右	黒磯	マネジャー	瀬山 鞠日	スポマネ					東京農大第二
内野手	篠原 誠皓	スポマネ	175	78	右	右	池田	マネジャー	日野 実南	スポマネ					大東文化第一

NS

2025-SPRING

SHUTO BASEBALL LEAGUE

RECORD

日時	対戦カード	日時	対戦カード
4/5 (土)	日体大 4-2 武蔵大	5/3 (土)	城西大 2-5 武蔵大
	帝京大 0-2 東海大		筑波大 1-11 帝京大
	筑波大 5-0 城西大		日体大 1-6 東海大
4/6 (日)	東海大 8-5 帝京大	5/4 (日)	帝京大 1-6 筑波大
	城西大 1-5 筑波大		東海大 7-8 日体大
	武蔵大 0-6 日体大		武蔵大 0-2 城西大
4/12 (土)	筑波大 4-2 武蔵大	5/10 (土)	東海大 3-4 日体大
	日体大 1-11 帝京大	5/11 (日)	帝京大 1-11 筑波大
	城西大 3-2 東海大		武蔵大 6-4 城西大
4/19 (土)	帝京大 5-6 日体大	5/17 (土)	東海大 0-0 武蔵大
	東海大 7-5 城西大	5/18 (日)	城西大 4-1 帝京大
	武蔵大 1-5 筑波大		武蔵大 0-6 東海大
4/20 (日)	帝京大 1-6 日体大	5/24 (土)	筑波大 4-0 日体大
	城西大 1-3 東海大		武蔵大 0-4 帝京大
4/26 (土)	日体大 7-1 城西大	5/25 (日)	日体大 4-7 筑波大
	筑波大 2-4 東海大		帝京大 13-4 城西大
	帝京大 8-2 武蔵大		東海大 9-3 武蔵大
4/27 (日)	東海大 8-7 筑波大	5/26 (月)	帝京大 6-2 城西大
	武蔵大 6-3 帝京大		
	城西大 1-5 日体大		

第一節

MUSASHI

武蔵大学 戦

一回戦

4月5日(土) ジャイアンツタウンスタジアム

日体大	0	1	1	0	1	0	0	1	0	4
武蔵大	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

【時間】9:31 ~ 11:52 (2時間 21分) 【審判】C: 伊藤大 I: 串田 II: 田中康 III: 中川
 【本塁打】(日) 渡邊礼 [1号ソロ]、小林聖 [1号ソロ] 【二塁打】(日) 田邊、酒井、(武) 種田、丹羽

▶ 先制を許すも 2 ホーマーで追いつき、四番の適時打で逆転勝利

昨秋、リーグ制覇の立役者となった篠原颯 (4年・池田) が開幕投手を任された。「初戦で緊張していた」と1回裏、先頭打者に初球を右前に運ばれ、失策と適時二塁打でいきなり先制を許す展開に。さらに一塁手強襲の打球が後ろに逸れ、2点目も献上。ここで「いつも通りミットをめがけて投げれば抑えられる」と気持ちを落ち着かせた篠原、その後は危なげない投球を見せ7回2失点と試合を作ってマウンドを降りた。

2点を追う2回表、初スタメンの五番・渡邊礼 (3年・帝京) が1点本塁打を放ちスタンドを沸かす。3回には小林聖 (2年・浦和学院) の1点本塁打で同点に追いついた。その後、敵失と酒井 (3年・東海大菅生) の適時打で得点を4まで伸ばした日体大。

リーグ戦デビューに関わらず球速表示は150キロとインパクトを残した二番手サウスポー・西平 (3年・近大付) も、2回無失点の投球。難しい初戦を勝利で飾り、連覇に向けて一歩前進だ。



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	3	1	1
2	⑨	中上	3	九州国際大付	3	0	0
	H	谷口	3	東海大相模	0	0	0
	R	岩田一	4	東海大菅生	0	0	0
	9	森田	4	智辯学園	0	0	0
3	④	鈴木斗	3	山梨学院	4	0	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	2	1
5	⑤	渡邊礼	3	帝京	4	1	1
6	(D)	黒川	4	星陵	4	0	0
7	③	門馬	4	東海大相模	3	0	0
8	②	田邊	4	常総学院	4	1	0
9	⑥	門間	2	東海大菅生	3	0	0
					32	5	3

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自责
○篠原颯	4	池田	7	27	5	0
西平	3	近畿大付	2	7	0	0
			9	34	5	0

(武蔵大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	松井	4	桐光学園	4	2	0
2	⑦	種田	3	川越東	4	1	1
3	⑨	佐藤史	4	花巻東	2	0	0
4	②	岩田	4	日大二	4	0	0
5	⑤	中橋	3	成田	4	0	0
6	③	丹羽	1	帝京	4	1	0
7	④	秋元	3	仙台育英学園	4	0	0
8	(D)	三島	3	東海大甲府	2	0	0
	H	福與	4	東海大甲府	1	0	0
9	⑥	小日向	1	東海大甲府	3	1	0
					32	5	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自责
●吉田	3	花巻東	4 1/3	18	3	2
廣田	3	日立第一	2/3	2	0	0
川口	3	上尾	2	7	1	0
檜山	3	茂木	2/3	3	0	1
山田翼	3	山村学園	1 1/3	5	1	0
			9	35	5	3

二回戦

4月6日(土) ジャイアンツタウンスタジアム

武蔵大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日体大	0	1	0	2	0	0	0	3	x	6

【時間】9:31 ~ 11:52 (2時間 22分) 【審判】C: 玉置 I: 宇佐美 II: 水原 III: 鳳城
 【本塁打】(日) 酒井 [1号2ラン]、渡邊礼 [2号3ラン] 【二塁打】(日) 田邊

▶ 快勝! 渡邊礼の2戦連続弾、先発デビュー・中嶋は7回無失点の快投

昨秋はリリーフだった中嶋 (4年・桐光学園) が先発デビュー。1回表に2死一、二塁、7回表には無死一、二塁のピンチを作ったが、いずれも後続を抑えた。150キロ超の強いストレートが武器の中嶋だが、オープン戦では不調気味だった。変化球に頼らざるを得なかったことが、逆に投球の幅を広げることに繋がった。この日もスプリットが冴え、7回無失点の好投で篠原颯 (4年・池田) に並ぶ先発候補への期待を見せた。

野手陣も、中嶋の好投に応えた。2回裏に田邊 (4年・常総学院) の左越適時二塁打で1点を先制すると、4回には四番・酒井 (3年・東海大菅生) が有望の本塁打を放ち2点追加。8回には、鈴木斗 (3年・山梨学院)、酒井の連打で走者を溜めると渡邊礼 (3年・帝京) に2戦連続弾が飛び出した。

8回は伊藤 (4年・智辯和歌山)、9回は松田 (4年・仙台育英) が投げ完封リレー。快勝した日体大は、2連勝で勝ち点1を獲得した。



(武蔵大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧5	松井	4	桐光学園	4	1	0
2	⑦8	種田	3	川越東	3	1	0
3	⑨	佐藤史	4	花巻東	3	0	0
4	②	岩田	4	日大二	4	1	0
5	⑤	中橋	3	成田	2	0	0
	7	山田昊	2	八王子	2	2	0
6	③	丹羽	1	帝京	4	2	0
7	④	秋元	3	仙台育英学園	2	0	0
8	(D)	福與	4	東海大甲府	3	0	0
	H	丸山	4	東福岡	1	0	0
9	⑥	小日向	1	東海大甲府	2	0	0
	H	利光	4	愛工大名電	1	1	0
	R	山口諒	4	中央学院	0	0	0
6		池澤	4	桐蔭学園	0	0	0
					31	8	0

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自责
●小林	4	星陵国際湘南	6	25	6	3
山田翼	3	山村学園	1	3	0	0
弓達	3	聖隷クリストファ	1	7	3	3
			8	35	9	6

(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	4	1	0
2	(D)	中上	3	九州国際大付	1	0	0
	HD	谷口翔	3	東海大相模	2	0	0
	HD	木原	4	桐蔭学園	1	0	0
3	④5	鈴木斗	3	山梨学院	4	2	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	2	2
5	⑤	渡邊礼	3	帝京	3	1	3
6		才田	1	東海大相模	0	0	0
6	⑨	黒川	4	星陵	3	2	0
7	③	門馬	4	東海大相模	2	0	0
8	②	田邊	4	常総学院	3	1	1
9	64	門間	2	東海大菅生	2	0	0
					29	9	6

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自责
○中嶋	4	桐光学園	7	26	4	0
伊藤大	4	智辯和歌山	1	5	3	0
松田	4	仙台育英学園	1	4	1	0
			9	35	8	0

第二節

TEIKYO

帝京大学 戦

一回戦

4月12日(土) バッティングパレス相石スタジアムひらつか

日体大	0	0	0	0	1	0	0	1
帝京大	0	0	1	1	3	4	2X	11

【時間】12:32 ~ 14:39 (2時間7分) 【審判】C: 深澤 I: 河井 II: 畠山 III: 平山

【本塁打】(帝) 池田 [1号2ラン]、彦坂 [1号ソロ] 【二塁打】(日) 谷口翔、(帝) 宮城、森田、金澤

▶ 16被安打 11失点、チャンスを生かせず7回コールド負け

篠原颯 (4年・池田) が先発、テンポよく3アウトを取りいいスタートを切った。だが3回裏、連打でチャンスを作った帝京大が先制。

日体大も帝京大の新エース・宮田に対し毎回走者を出すものの、なかなか点に結びつかない。5回表、先頭の黒川 (4年・星稜) が敵失で出塁し無死二塁のチャンスを作ると、この日七番・指名打者でスタメン出場していた谷口翔 (3年・東海大相模) の左線適時二塁打でやっとホームを踏む。なおも無死二塁で一気に逆転といきたいところだったが、後続が倒れ追加点とはならなかった。

5回裏、帝京大の池田に2点本塁打を打たれたところで伊藤 (4年・智辯和歌山) にスイッチ。だが、負の連鎖は止まらず連打と失策でこの回さらに1点を失い、6回裏にも彦坂の本塁打を含む被安打5と失策で4点を失った。

7回裏には松田 (4年・仙台育英) がマウンドに上がるも2失点。7回10点差で連盟規定によりコールド負けとなった。



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	3	0	0
2	③	門馬	4	東海大相模	2	0	0
3	④	鈴木斗	3	山梨学院	3	0	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	3	1	0
5	⑤	渡邊礼	3	帝京	3	0	0
6	⑨	黒川	4	星稜	2	0	0
	H	角谷	3	星稜	1	0	0
	9	森田	4	智辯学園	0	0	0
7	(D)	谷口翔	3	東海大相模	3	1	1
8	②	田邊	4	常総学院	2	1	0
9	⑥	門間	2	東海大菅生	2	1	0
					24	4	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●篠原颯	4	池田	4 1/3	21	7	4
伊藤大	4	智辯学園和歌山	1 2/3	12	6	4
松田	4	仙台育英学園	2/3	7	3	2
			6 2/3	40	16	10



(帝京大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	彦坂	4	享栄	5	2	1
2	⑨	中山	2	宇都宮工	5	2	1
3	②	池田	4	宇部鴻城	4	2	2
4	(D)	山田	3	滋賀学園	4	1	2
5	④	宮城	4	山口県桜ヶ丘	3	2	1
6	⑤	森田	2	履正社	4	4	1
7	⑥	金澤	3	日大三	4	2	2
8	③	篠原	4	中部大春日丘	4	0	0
9	⑦	山本	4	聖望学園	2	1	0
					35	16	10

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○宮田	4	和歌山商	7	25	4	0
			7	25	4	0



二回戦

4月19日(土) 越谷市民球場

帝京大	2	0	0	3	0	0	0	0	5
日体大	0	2	0	0	0	0	0	4x	6

【時間】9:00 ~ 11:56 (2時間56分) 【審判】C: 串田 I: 土橋 II: 内堀 III: 宇田川

【二塁打】(帝) 山田、(日) 谷口翔、酒井、渡邊礼、門馬

▶ 劣勢の展開も、9回裏に渡邊礼の適時打で逆転サヨナラ勝利

前回好投した中嶋 (4年・桐光学園) が二度目の先発マウンドへ。この日は初回からストレートの四球を3つ与える立ち上がりで、一塁手の悪送球なども絡み2点を失った。だが2回裏、日体大は先頭の酒井 (3年・東海大菅生) が二塁打で出塁すると、続く渡邊礼 (3年・帝京) の適時二塁打で1点を返す。さらに田邊 (4年・常総学院) の適時打で同点に。

2回3回と踏ん張っていた中嶋だったが、4回先頭打者に四球を与えると2死満塁から連打で2点を失う。ここで西平 (3年・近大付) にスイッチするも、さらに1点を失った。

3点ビハインドで最後の攻撃を迎えた日体大。門馬 (4年・東海大相模) の二塁打、田邊の安打でチャンスを作ると、この日初スタメンの才田 (1年・東海大相模) が適時打。さらに、谷口翔 (3年・東海大相模) の左越適時二塁打で同点に追いつく。最後は、2死満塁で打席に立った渡邊礼が、左前に勝利の一打を放った。



(帝京大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	彦坂	4	享栄	5	0	0
2	⑨	中山	2	宇都宮工	4	2	0
3	②	池田	4	宇部鴻城	5	2	2
4	(D)	山田	3	滋賀学園	5	3	2
5	④	宮城	4	山口県桜ヶ丘	4	0	0
6	⑤	森田	2	履正社	4	1	1
7	⑥	金澤	3	日大三	1	0	0
8	③	篠原	4	中部大春日丘	4	0	0
9	⑦	山本	4	聖望学園	4	0	0
					36	8	5

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
宮田	4	和歌山商	8 1/3	36	9	5
●久野	4	岡山学芸館	1/3	5	2	1
			8 2/3	41	11	6



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	3	0	0
	H	田川	2	長崎海星	1	0	0
	8	森田	4	智辯学園	0	0	0
	H	中上	3	九州国際大付	1	0	0
2	(D)	谷口翔	3	東海大相模	5	3	2
3	④	鈴木斗	3	山梨学院	4	0	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	3	1	0
5	⑤	渡邊礼	3	帝京	5	2	2
6	⑨	黒川	4	星稜	2	0	0
	H	角谷	3	星稜	1	0	0
9		野道	1	敦賀気比	0	0	0
	H	木原	4	桐蔭学園	1	0	0
7	③	門馬	4	東海大相模	3	1	0
8	②	田邊	4	常総学院	4	2	1
9	⑥	才田	1	東海大相模	4	2	1
	R	岩田一	4	東海大菅生	0	0	0
					37	11	6

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
中嶋	4	桐光学園	3 2/3	21	4	1
西平	3	近畿大附	2 1/3	12	4	0
○篠原颯	4	池田	3	10	0	0
			9	43	8	1

三回戦

4月20日(日) 越谷市民球場

帝京大	0	0	1	0	0	0	0	0	1
日体大	0	0	2	1	0	0	3	0	x

【時間】9:00 ~ 11:25 (2時間25分) 【審判】C: 鈴木研 I: 増山 II: 串田 III: 伊藤勝

【二塁打】(帝) 森田、辻崎、(日) 角谷

▶ 11安打 6得点で快勝！ 伊藤と篠原も好投

昨日、初スタメンで2安打の新1年生・才田 (東海大相模) を一番に据え、1勝1敗で迎えた帝京大3回戦。3回表、帝京大に先制されたが、その裏、すぐに反撃を開始。2死二塁から谷口翔 (3年・東海大相模) が右前に打球を運ぶと、すでにスタートを切っていた二塁走者の田邊 (4年・常総学院) が悠々とホームを踏んだ。谷口翔は敵失で二塁に進塁し、鈴木斗 (3年・山梨学院) の中前適時打で逆転に成功。4回には、小林聖 (2年・浦和学院) の内野安打でさらに1点を加えた。

投げては今季初先発の伊藤 (4年・智辯和歌山) が7回まで1失点と粘投。8回に制球が乱れ始め、被安打と四死球で無死満塁とピンチを作ったが、あとを継いだ篠原颯 (4年・池田) が小気味よい投球で無失点に抑えた。

7回裏にも代打の角谷 (3年・星稜) の右越適時二塁打と投手の暴投、門馬 (4年・東海大相模) の犠牲でダメ押しの3点を加え、6-1で快勝。勝ち点2とした。



(帝京大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	彦坂	4	享栄	2	1	1
2	⑨	中山	2	宇都宮工	3	0	0
3	②	池田	4	宇部鴻城	4	1	0
4	(D)	山田	3	滋賀学園	4	0	0
5	④	宮城	4	山口県桜ヶ丘	4	0	0
6	⑤	森田	2	履正社	3	1	0
7	⑥	金澤	3	日大三	4	1	0
8	③	橋高	3	履正社	4	1	0
9	⑦	山本	4	聖望学園	0	0	0
	H	辻崎	2	文徳	1	1	0
	R7	浅田	1	浦和学院	0	0	0
	H	田口	2	享栄	1	0	0
					30	6	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●伊藤	3	八王子北	3	13	3	1
三上	3	帝京第三	1	6	2	1
東山	3	聖望学園	3	16	6	2
久野	4	岡山学芸館	1	3	0	0
			8	38	11	4



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑥	才田	1	東海大相模	4	1	0
2	(D)	谷口翔	3	東海大相模	4	1	1
3	④5	鈴木斗	3	山梨学院	4	3	1
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	1	0
5	⑤	渡邊礼	3	帝京	4	0	0
	4	門間	2	東海大菅生	0	0	0
6	⑨	黒川	4	星稜	3	1	0
	H	角谷	3	星稜	1	1	1
	R9	野道	1	敦賀気比	0	0	0
7	③	門馬	4	東海大相模	2	0	1
8	②	田邊	4	常総学院	4	1	0
9	⑧	小林聖	2	浦和学院	3	2	1
					33	11	5

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○伊藤大	4	智辯学園和歌山	7	29	6	1
篠原颯	4	池田	2	7	0	0
			9	36	6	1



第三節

JOSAI

城西大学戦

一回戦

4月26日(土) 牛久運動公園野球場

日体大	0	1	2	0	0	0	3	0	1	7
城西大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

【時間】9:00 ~ 11:48 (2時間 48分) 【審判】C: 浅野 I: 松田 II: 長尾 III: 畠山

【本塁打】(日) 鈴木斗【1号ソロ】【三塁打】(日) 渡邊礼【二塁打】(日) 黒川、鈴木斗、谷口翔、酒井、田邊、門馬、(武) 新津、西鍛冶

▶ 初球から積極的なスイング、13安打で今日も快勝！

先週はリリーフに回っていた篠原颯(4年・池田)が先発登板。3回裏に犠飛で1点を失ったものの、5回の1死三塁のピンチにはそれまで145キロ程度だったストレートの球速帯をグンと上げ、140キロ後半の球を連発し空振りを奪う。二者連続の三振で追加点を与えなかった。

攻撃では、先週に続き打線が爆発。ファーストストライクから積極的に振って安打を量産した。2回表に才田(1年・東海大相模)の適時打で1点を先制すると、3回には渡邊礼(3年・帝京)と黒川(4年・星稜)、7回には酒井(3年・東海大菅生)と田邊(4年・常総学院)の適時打で追加点を挙げた。さらには9回、先週から調子を上げていた鈴木斗(3年・山梨学院)に1号ソロも出て、終わってみれば13安打で7得点。

投手陣も、7回からは幸坂(3年・徳島商)、9回をワトリー(4年・京都外大西)が走者は出しながらも無失点と及第点の内容で、投打がかみ合い快勝となった。



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	2	0	0
	H8	森田	4	智辯学園	1	0	0
2	(D)	谷口翔	3	東海大相模	4	2	0
3	④	鈴木斗	3	山梨学院	4	2	1
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	1	1
5	⑤	渡邊礼	3	帝京	5	1	1
6	③	黒川	4	星稜	3	2	1
	H3	門馬	4	東海大相模	1	1	0
7	②	田邊	4	常総学院	4	2	2
8	⑨	野道	1	敦賀気比	3	1	0
	H	角谷	3	星稜	1	0	0
9	⑥	才田	1	東海大相模	3	1	1
	H	木原	4	桐蔭学園	1	0	0
	H	門間	2	東海大菅生	0	0	0
					37	13	7

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自责
●長琉	4	下関国際	6	28	7	2
加藤卓	3	東大阪大柏原	2/3	4	2	2
多田野	4	倉敷工	0/3	2	1	1
渡邊俊	2	昌平	11/3	4	0	0
工藤	2	花巻東	1	6	3	1
			9	44	13	6

(城西大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑤	永野	2	相洋	3	0	1
2	④	勝田	4	尾道	3	0	0
3	⑥	松川	4	関西	4	0	0
4	②	小林	4	関西	2	0	0
	2	竹澤	4	北照	0	0	0
5	③	小西	4	静岡商	3	0	0
	H	新田	4	八王子	1	0	0
6	⑨	西鍛冶	1	日大三	4	2	0
7	(D)	新津	4	小諸商	2	1	0
	HD	加藤太	1	常総学院	1	0	0
8	⑦	丸山	1	常総学院	2	1	0
9	⑧	武井	4	西武台	2	0	0
	H8	甲斐	2	昌平	2	0	0
					29	4	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自责
●長琉	4	下関国際	6	28	7	2
加藤卓	3	東大阪大柏原	2/3	4	2	2
多田野	4	倉敷工	0/3	2	1	1
渡邊俊	2	昌平	11/3	4	0	0
工藤	2	花巻東	1	6	3	1
			9	44	13	6



二回戦

4月27日(日) 牛久運動公園野球場

城西大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
日体大	2	0	0	0	0	3	0	0	X	5

【時間】16:45 ~ 19:20 (2時間 35分) 【審判】C: 下里 I: 山下 II: 平山 III: 伊藤勝

【三塁打】(日) 渡邊礼、田邊

▶ 城西大に連勝し勝ち点3、首位でリーグ戦を折り返す

1回裏、谷口翔(3年・東海大相模)の安打と鈴木斗(3年・山梨学院)の死球で2死二塁とすると、昨日も適時三塁打を打った渡邊礼(3年・帝京)が中越適時三塁打を打ち、2点先制。

3回表に1点返されたが、6回裏には鈴木斗の四球、黒川(4年・星稜)の左前安打、門馬(4年・東海大相模)の四球で2死満塁とし、田邊(4年・常総学院)の初球を右中間に運ぶ3点適時三塁打で突き放した。

投手は伊藤(4年・智辯和歌山)が3回まで、4回から5回途中が中嶋(4年・桐光学園)、7回までが左の西平(3年・近大付)、最後に幸坂(3年・徳島商)と細かい継投で勝ちゲームを作った。

連日の理想的な試合運びで、勝ち点は3に。「4連覇がかかった昨春は、気の緩みから開幕6連敗で5位。昨年の途中から3年生の黒川にキャプテンを任せ、春のキャンプも強い気持ちでやった」と古城監督。昨秋再び頂点に立った日体大は、このまま連覇となるか。



(城西大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑤	永野	2	相洋	1	0	0
2	④	勝田	4	尾道	3	0	0
3	⑥	松川	4	関西	1	1	0
	6	菅原	3	埼玉平成	1	0	0
4	③	小西	4	静岡商	3	1	1
5	⑨	西鍛冶	1	日大三	4	1	0
6	⑦	丸山	1	常総学院	3	0	0
	H	岡村	2	日大三	1	0	0
	7	緑川	2	聖光学院	0	0	0
7	(D)	新津	4	小諸商	3	0	0
8	②	竹澤	4	北照	3	0	0
	H	新田	4	八王子	1	0	0
9	⑧	武井	4	西武台	3	2	0
					27	5	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自责
●鈴木耀	1	昌平	5	20	5	2
星野	3	八王子	2	10	2	2
前田	1	丸亀城西	1	4	1	0
			8	34	8	4

(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	4	0	0
2	(D)	谷口翔	3	東海大相模	3	2	0
3	④⑤	鈴木斗	3	山梨学院	2	0	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	0	0
5	⑤	渡邊礼	3	帝京	3	1	2
	4	門間	2	東海大菅生	1	0	0
6	⑨	黒川	4	星稜	4	2	0
7	③	門馬	4	東海大相模	3	0	0
8	②	田邊	4	常総学院	3	2	3
	2	北島	2	東海大菅生	0	0	0
9	⑥	才田	1	東海大相模	2	1	0
					29	8	5

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自责
伊藤大	4	智辯和歌山	3	14	4	1
中嶋	4	桐光学園	12/3	7	1	0
○西平	3	近畿大附	21/3	9	0	0
幸坂	3	徳島商	2	6	0	0
			9	36	5	1

第四節



東海大学戦

一回戦

5月3日(土) 大和スタジアム

日体大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
東海大	0	0	0	1	1	1	3	0	x	6

【時間】15:16 ~ 17:38 (2時間22分) 【審判】C:河井 I:鈴木孝 II:豊泉 III:加藤
【本塁打】(東) 笹田 [1号ソロ] 【二塁打】(日) 田邊、(東) 大塚

▶ 相手エースの前に4安打と振るわず、徐々に点差をつけられ敗北

日体大は篠原颯(4年・池田)、東海大は米田とリーグを代表する投手の対決。3回までは両者譲らず無失点だったが、4回裏に東海大が犠飛で先制点を挙げた。4回、5回、6回と日体大が走者をひとりも出せなかったのに対し東海大は1点ずつ得点を挙げ、3点を追う展開で後半戦に突入。
7回表、黒川(4年・星稜)が四球で出塁すると、2死二塁から田邊(4年・常総学院)が左中間に二塁打を放ち、待望の1点が入った。ところがその裏、三番手でマウンドに上がっていた松田(4年・仙台育英)の押し出し四球で1点を失い、さらに四番手・中嶋(4年・桐光学園)の暴投、押し出し四球で点差は広がり5に。
9回表の最後の攻撃も三者凡退となり、投手、野手ともに良さが出せない試合となった。同率首位の東海大に対し痛い敗戦。だが、まだ1敗しただけ。連勝で勝ち点奪取だ。



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑥	才田	1	東海大相模	2	0	0
	H	野道	1	敦賀気比	1	0	0
6		門間	2	東海大菅生	0	0	0
2	(D)	谷口翔	3	東海大相模	4	1	0
3	④	鈴木斗	3	山梨学院	3	1	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	1	0
5	⑤	渡邊礼	3	帝京	2	0	0
	H	高橋賢	3	西条	1	0	0
5		角谷	3	星稜	0	0	0
6	⑨	黒川	4	星稜	2	0	0
7	③	門馬	4	東海大相模	4	0	0
8	②	田邊	4	常総学院	4	1	1
9	⑧	小林聖	2	浦和学院	3	0	0
					30	4	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●篠原颯	4	池田	5	21	4	2
幸坂	3	徳島商	2/3	4	3	1
松田	4	仙台育英学園	1	7	1	3
中嶋	4	桐光学園	11/3	8	0	0



(東海大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	④	大島	1	東邦	4	1	0
	R	星野	3	東海大静岡翔洋	0	0	0
4		三宅	4	広陵	0	0	0
2	⑧	大前	3	大阪桐蔭	4	1	1
3	⑥	大塚	4	東海大相模	4	1	0
4	(D)	笹田	3	東海大相模	3	1	1
5	②	柳	4	八王子	1	1	2
	2	中森	1	敦賀気比	0	0	0
6	③	加門	2	神戸国際大附	2	0	0
7	⑤	板垣	2	東海大相模	2	0	0
	H5	川田	3	羽黒	1	0	1
8	⑦	中島	2	国土館	3	1	0
9	⑨	西	2	履正社	4	1	0
					28	7	5

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
米田	3	市立和歌山	8	32	4	1
森木	3	東海大甲府	1	3	0	0
			9	35	4	1



二回戦

5月4日(日) 大和スタジアム

東海大	0	0	0	1	0	3	0	0	0	2	1	7
日体大	0	1	1	0	0	0	2	0	0	2	2x	8

【時間】11:50 ~ 14:50 (3時間) 【審判】C:増山 I:深澤 II:森 III:鳳城
【本塁打】(日) 鈴木斗 [2号ソロ]、谷口翔 [1号2ラン] 【二塁打】(東) 加門

▶ 取って取られてのシーソーゲームを延長サヨナラで制す!

2回裏、敵方で先制したのは日体大、3回には鈴木斗(3年・山梨学院)の1点本塁打で追加点を挙げた。4回表、東海大に1点を返されると、6回裏には逆転を許し2-4となる。なんとか取り返したい7回裏、谷口翔(3年・東海大相模)に2点本塁打が飛び出し試合は振り出しに。
その後、お互い追加点を挙げられずそのまま延長戦に突入した。無死二、三塁から始まるタイブレーク、10回表は東海大を2死まで追い込むも主将の大塚に右越三塁打を打たれ2点献上。だが10回裏、今度は2死から日体大の主将・黒川(4年・星稜)の三塁手強襲2点適時打で再び同点とする。
11回表には東海大が1点追加したが、2死一、二塁からマウンドに上がった馬場(3年・福岡大大濠)が後続を抑える。1点を追う11回裏、日体大は岩田一(4年・東海大菅生)の犠打で1死二、三塁を作り、小林聖(2年・浦和学院)が右前にサヨナラ逆転打を放ってこの試合を制した。



(東海大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	④	大島	1	東邦	3	0	0
	H	砂子田	1	八戸学院光星	1	0	0
4		三宅	4	広陵	0	0	0
2	⑧	大前	3	大阪桐蔭	4	1	0
3	⑥	大塚	4	東海大相模	1	0	0
4	(D)	笹田	3	東海大相模	4	0	0
5	②	柳	4	八王子	3	0	0
6	③	加門	2	神戸国際大附	3	1	1
7	⑤	川田	3	羽黒	2	0	0
	5	板垣	2	東海大相模	1	0	1
8	⑦	中島	2	国土館	4	1	2
9	⑨	西	2	履正社	4	0	0
					30	3	4

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
庄田	3	東海大相模	2	9	4	0
知崎	4	東邦	1	6	1	1
求	3	東海大相模	3	11	0	0
森木	3	東海大甲府	1	6	2	2
若山	4	東海大甲府	1	3	1	0
●米田	3	市立和歌山	1	3	0	0
※タイブレーク						
			9	38	8	3

(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	④5	鈴木斗	3	山梨学院	5	2	1
2	⑨	野道	1	敦賀気比	3	0	0
	H	高橋賢	3	西条	0	0	0
	R6	門間	2	東海大菅生	1	0	0
3	(D)	谷口翔	3	東海大相模	3	1	2
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	3	2	0
5	③	黒川	4	星稜	2	0	0
6	②	田邊	4	常総学院	4	1	0
7	⑤	渡邊礼	3	帝京	4	1	0
	R4	岩田一	4	東海大菅生	0	0	0
8	⑧	小林聖	2	浦和学院	3	1	0
9	⑥	才田	1	東海大相模	1	0	0
	H9	中上	3	九州国際大府	1	0	0
	H	角谷	3	星稜	1	0	0
					31	8	3

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
伊藤大	4	智辯学園和歌山	4	16	1	1
西平	3	近畿大附	2	11	2	3
篠原颯	4	池田	3	9	0	0
※タイブレーク						
○馬場	3	福岡大大濠				
			9	36	3	4

三回戦

5月10日(土) 浦安市運動公園野球場

東海大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3
日体大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1x	4

【時間】13:30 ~ 16:30 (3時間) 【審判】C:深澤 I:加藤 II:西宮 III:齋藤伸
【二塁打】(日) 小林聖 2、黒川

▶ 11安打6得点で快勝! 伊藤と篠原も好投

1回裏、先頭の小林聖(2年・浦和学院)が二塁打で出塁、野道(1年・敦賀気比)の犠打で1死三塁とすると、鈴木斗(3年・山梨学院)の適時打で1点先制した。
その後は日体大・伊藤(4年・智辯和歌山)と東海大・米田の投手戦が続き、スコアボードには0が並ぶ。6回からは篠原颯(4年・池田)が登板、7回に失策で出した走者に同点のホームを踏まれたが、その後また動きのないまま2回戦に続き延長に突入した。
無死一、二塁から始まるタイブレークで10回表に2点を失うも、その裏、1死満塁のチャンスを作る。勝った方が優勝に近づくこの試合、簡単に勝たせてくれるわけもなく門馬(4年・東海大相模)が三振に倒れ2死となり、鈴木斗(3年・山梨学院)もフルカウントと追い込まれたが、起死回生の2点適時打で望みをつないだ。
11回表は馬場(3年・福岡大大濠)が無失点に抑え、その裏、田邊(4年・常総学院)のスライズで勝利を決めた。



(東海大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	④	内藤	3	県立岐阜商	5	1	0
2	⑧	大前	3	大阪桐蔭	3	1	0
3	⑥	大塚	4	東海大相模	3	1	0
4	(D)	笹田	3	東海大相模	3	1	0
5	②	柳	4	八王子	4	1	0
6	③	加門	2	神戸国際大附	4	0	0
7	⑦	中島	2	国土館	4	1	0
	R9	星野	3	東海大静岡翔洋	0	0	0
8	⑤	川田	3	羽黒	2	0	0
	H	大島	1	東邦	0	0	0
	5	三宅	4	広陵	0	0	0
9	⑨7	西	2	履正社	4	2	1
					32	8	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
米田	3	市立和歌山	9	35	6	1
※タイブレーク						
●求	3	東海大相模				
			9	35	6	1



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	4	3	0
2	⑨	野道	1	敦賀気比	2	0	0
3	④5	鈴木斗	3	山梨学院	4	1	1
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	3	1	0
5	(D)	谷口翔	3	東海大相模	4	0	0
6	③	黒川	4	星稜	4	1	0
7	②	田邊	4	常総学院	4	0	0
8	⑤	渡邊礼	3	帝京	3	0	0
9	⑥	才田	1	東海大相模	3	0	0
					31	6	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
伊藤大	4	智辯和歌山	5	19	3	0
篠原颯	4	池田	4	18	5	0
※タイブレーク						
○馬場	3	福岡大大濠				
			9	37	8	0



第五節

TSUKUBA

筑波大学戦

一回戦

5月18日(日) 等々力球場

筑波大	1	0	1	0	2	0	0	0	0	4
日体大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【時間】9:31 ~ 11:52 (2時間 25分) 【審判】C: 田中康 I: 齋藤伸 II: 西宮 III: 玉置
【二塁打】(筑) 米田、岡城

▶ 三つ巴の優勝争いの中で、痛い完封負け

優勝の可能性を残すのは日体大、東海大、筑波大の3チーム。筑波大との直接対決となるこのカードは、絶対に落とせない。先発投手は篠原颯(4年・池田)、初回から1点を失い3回表にも追加点を奪われる。粘投を続ける中で味方の援護を待ちたいところだが、筑波大・国本の前になかなか出塁できない日体大ナイン。3回裏には2死一、三塁のチャンスを作るも、ホームを踏むことはできなかった。5回表にはさらに2点を失い、4点を追う苦しい展開に。その後も、7回裏には2死一、三塁、9回裏には2死一、二塁と何度かチャンスは作ったが、あと一本が出なかった。「連覇」に挑戦できるのは、昨秋優勝した日体大だけ。今一度「人間力野球～勝つにふさわしいチーム、選手になって勝つ～」の部訓、「一味同心～日本への挑戦～」のチームスローガンを胸に刻み、貪欲に1勝をつかみ取って欲しい。



(筑波大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑦	川上	4	旭川実	4	0	0
2	⑥	宮澤	3	花巻東	4	1	0
3	⑧	岡城	4	岡山一宮	3	2	1
4	⑤③	米田	4	明豊	2	1	1
5	②	西川	4	中京大中京	3	1	1
6	⑨	堀江	4	健大高崎	4	0	0
7	(D)	松永	3	日大三島	3	0	0
8	④	五十嵐	4	三条	2	0	0
	H	田代	3	花巻東	1	0	0
4		西口	1	敦賀気比	0	0	0
9	③	本間	4	刈谷	3	0	0
	H	吉田	3	県立相模原	1	0	0
5		長田	2	國學院大栃木	0	0	0
					30	5	3

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○国本	4	名古屋	6	22	3	0
山田幹	2	彦根東	3	12	4	0
			9	34	7	0

(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	4	1	0
2	⑨	野道	1	敦賀気比	2	1	0
	H3	門馬	4	東海大相模	1	0	0
3	④	鈴木斗	3	山梨学院	3	0	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	1	0
5	(D)	谷口翔	3	東海大相模	4	0	0
6	③⑨	黒川	4	星稜	4	2	0
7	②	田邊	4	常総学院	4	1	0
8	⑤	渡邊礼	3	帝京	3	1	0
9	⑥	才田	1	東海大相模	2	0	0
	H	高橋賢	3	西条	1	0	0
6		門間	2	東海大菅生	0	0	0
					32	7	0

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●篠原颯	4	池田	2 1/3	13	3	2
伊藤大	4	智弁学園和歌山	2	10	2	1
西平	3	近畿大附	2 2/3	8	0	0
馬場	3	福岡大大濠	2	6	0	0
			9	37	5	3

二回戦

5月24日(土) 等々力球場

日体大	1	0	1	1	0	1	0	0	0	4
筑波大	0	0	0	0	0	5	2	0	x	7

【時間】13:14 ~ 16:02 (2時間 48分) 【審判】C: 鈴木孝 I: 三谷 II: 齋藤佑 III: 杉江
【本塁打】(日) 門馬 [1号ソロ] 【二塁打】(筑) 西川、堀江

▶ 有利な試合展開も逆転を許し、今季は3位で終戦

優勝するには必ず勝利しなければならないこの試合。日体大は、1回表に酒井(3年・東海大菅生)の犠飛で先制すると、3回には悪送球や落球などの敵失で走者を溜めて併殺打の間に1点、4回には押し出し四球で1点と、コツコツ得点を重ねる。6回表には門馬(4年・東海大相模)がセンター方向に特大の1点本塁打を放ち、さらに点差を広げた。初先発となったサウスローの西平(3年・近大付)は5回まで無失点と好投。だが、6回に安打と失策、四球で無死満塁のピンチとなると、次の打者に初球を叩かれ1点を失う。ここで篠原颯(4年・池田)にスイッチしたが、失策も絡みさらに4失点と逆転を許した。7回裏1死二塁の場面で、ここまでチームを救う投球をしてきた馬場(3年・福岡大大濠)が登板するも、相手の勢いは止められず2失点。7回からは二塁を踏むこともできなかった日体大は、3点差を縮めることができず無念の敗戦。3位でシーズンを終えた。



(城西大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑤	永野	2	相洋	1	0	0
2	④	勝田	4	尾道	3	0	0
3	⑥	松川	4	関西	1	1	0
	6	菅原	3	埼玉平成	1	0	0
4	③	小西	4	静岡商	3	1	1
5	⑨	西鍛冶	1	日大三	4	1	0
6	⑦	丸山	1	常総学院	3	0	0
	H	岡村	2	日大三	1	0	0
7	(D)	緑川	2	聖光学院	0	0	0
7	(D)	新津	4	小諸商	3	0	0
8	②	竹澤	4	北照	3	0	0
	H	新田	4	八王子	1	0	0
9	⑧	武井	4	西武台	3	2	0
					27	5	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●鈴木耀	1	昌平	5	20	5	2
星野	3	八王子	2	10	2	2
前田	1	丸亀城西	1	4	1	0
			8	34	8	4

(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	4	0	0
2	(D)	谷口翔	3	東海大相模	3	2	0
3	④⑤	鈴木斗	3	山梨学院	2	0	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	0	0
5	⑤	渡邊礼	3	帝京	3	1	2
	4	門間	2	東海大菅生	1	0	0
6	⑨	黒川	4	星稜	4	2	0
7	③	門馬	4	東海大相模	3	0	0
8	②	田邊	4	常総学院	3	2	3
	2	北島	2	東海大菅生	0	0	0
9	⑥	才田	1	東海大相模	2	1	0
					29	8	5

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
伊藤大	4	智辯和歌山	3	14	4	1
中嶋	4	桐光学園	12/3	7	1	0
○西平	3	近畿大附	2 1/3	9	0	0
幸坂	3	徳島商	2	6	0	0
			9	36	5	1

SPRING LEAGUE RECORD-2025

WIN-LOSS STANDINGS

順位	大学名	東海大	筑波大	日体大	帝京大	武蔵大	城西大	試合	勝	負	勝点	勝率
優勝	東海大	-	○4-2 ○8-7	○6-1 ●7-8x ●3-4x	○2-0 ○8-5	○6-0 ○9-3	●2-3 ○7-5 ○3-1	12	9	3	4	0.75
2	筑波大	●2-4 ●7-8	-	○4-0 ○7-4	●1-11 ○6-1 ○11x-1	○4-2 ○5-1	○5-0 ○5-1	11	8	3	4	0.73
3	日体大	●1-6 ○8x-7 ○4x-3	●0-4 ●4-7	-	●1-11x ○6x-5 ○6-1	○4-2 ○6-0	○7-1 ○5-1	12	8	4	4	0.67
4	帝京大	●0-2 ●5-8	○11-1 ●1-6 ●1-11x	○11x-1 ●5-6x ●1-6	-	○8-2 ●3-6 ○4-0	●1-4 ○13-4 ○6-2	14	6	8	2	0.43
5	武蔵大	●0-6 ●3-9	●2-4 ●1-5	●2-4 ●0-6	●2-8 ○6-3 ●0-4	-	○5-2 ●0-2 ○6-4	12	3	9	1	0.25
6	城西大	○3-2 ●5-7 ●1-3	●0-5 ●1-5	●1-7 ●1-5	○4-1 ●4-13 ●2-6	●2-5 ○2-0 ●4-6	-	13	3	10	0	0.23

AWARDED ATHLETE

【最高殊勲選手】 柳 元珍 【東海大・4年(初)】

【最優秀投手】 米田 天翼 【東海大・3年(初)】

【首位打者】 西川 鷹晴 【筑波大・4年(初)】

ベストナイン

- 投手 米田 天翼 【東海大・3年(3)】
- 遊撃手 大塚 瑠晏 【東海大・4年(初)】
- 捕手 柳 元珍 【東海大・4年(初)】
- 外野手 岡城 快生 【筑波大・4年(2)】
- 一塁手 米田 友 【筑波大・4年(初)】
- 外野手 酒井 成真 【日体大・3年(初)】
- 二塁手 内藤 大輔 【東海大・3年(初)】
- 外野手 武井 大智 【城西大・4年(初)】
- 三塁手 森田 大翔 【帝京大・2年(初)】
- 指名打者 山田 一晴 【帝京大・3年(初)】

BEST 10 PITCHER

順位	氏名	大学	学年	試合	勝	敗	投球回	奪三振	失点	自責点	防御率
1	国本 航河	筑波大	4	6	2	0	27 2/3	28	7	1	0.33
2	米田 天翼	東海大	3	11	6	2	62 1/3	52	10	10	1.44
3	篠原 颯斗	日体大	4	10	3	4	37 2/3	32	14	10	2.39
4	鈴木 耀斗	城西大	1	7	0	4	30	16	15	9	2.70
5	長 琉之介	城西大	4	9	2	5	42 1/3	36	20	13	2.76
6	宮田 率生	帝京大	4	9	5	3	58 2/3	36	23	19	2.91
7	小林 匠	武蔵大	4	6	0	4	36	23	21	13	3.25
8	友廣 陸	筑波大	2	6	2	1	26 1/3	18	11	10	3.42

BEST 10 HITTER

順位	氏名	大学	学年	試合	打席	打数	安打	本塁打	打点	四死球	打率
1	西川 鷹晴	筑波大	4	11	44	37	15	1	9	5	0.405
2	大塚 瑠晏	東海大	4	12	53	41	16	1	6	12	0.390
3	柳 元珍	東海大	4	12	52	39	15	0	10	11	0.385
4	岡城 快生	筑波大	4	11	49	40	15	1	7	9	0.375
5	森田 大翔	帝京大	2	14	60	51	18	1	10	7	0.353
6	永野 悟史	城西大	2	12	43	35	12	0	3	5	0.343
7	岩田 侑真	武蔵大	4	12	50	42	14	1	4	7	0.333
8	酒井 成真	日体大	3	12	50	43	14	1	5	6	0.326
8	田邊 広大	日体大	4	12	46	43	14	0	8	2	0.326
10	山田 一晴	帝京大	3	14	62	59	19	0	10	3	0.322



2025-AUTUMN SHUTO BASEBALL LEAGUE RECORD

日時	対戦カード	日時	対戦カード
9/6 (土)	東海大 3 - 1 城西大	10/4 (土)	帝京大 9 - 2 城西大
	日体大 2 - 6 武蔵大		筑波大 2 - 5 日体大
	筑波大 2 - 3 帝京大		東海大 2 - 7 武蔵大
9/7 (日)	武蔵大 6 - 4 日体大	10/5 (日)	日体大 3 - 6 筑波大
	帝京大 4 - 13 筑波大		武蔵大 1 - 0 東海大
9/13 (土)	城西大 0 - 3 東海大	10/12 (日)	城西大 2 - 5 帝京大
	筑波大 10 - 2 城西大		日体大 2 - 1 筑波大
9/14 (日)	東海大 1 - 2 日体大	10/18 (土)	東海大 2 - 5 筑波大
	帝京大 1 - 4 武蔵大		日体大 3 - 1 帝京大
9/20 (土)	日体大 7 - 2 東海大	10/19 (日)	武蔵大 0 - 1 城西大
	武蔵大 2 - 7 帝京大		帝京大 8 - 6 日体大
9/21 (日)	城西大 1 - 2 筑波大	10/25 (土)	城西大 9 - 1 武蔵大
	筑波大 7 - 3 帝京大		筑波大 4 - 2 東海大
9/27 (土)	帝京大 4 - 2 武蔵大	10/27 (月)	武蔵大 4 - 5 筑波大
	東海大 1 - 4 帝京大		日体大 3 - 2 城西大
9/28 (日)	筑波大 6 - 1 武蔵大	10/28 (火)	帝京大 5 - 5 東海大
	日体大 2 - 3 城西大		東海大 6 - 8 帝京大
9/28 (日)	武蔵大 1 - 0 筑波大	10/29 (水)	日体大 5 - 6 帝京大
	城西大 2 - 4 日体大		東海大 13 - 2 城西大
	帝京大 3 - 7 東海大		

第一節

MUSASHI

武蔵大学 戦

一回戦

9月6日(土) 大田スタジアム

日体大	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
武蔵大	0	0	2	0	0	0	0	4	x	6

【時間】12:50 ~ 15:22 (2時間32分) 【審判】C: 佐々木 I: 伊藤勝 II: 串田 III: 石田
【三塁打】(武) 丹羽 【二塁打】(日) 鈴木斗、(武) 山田昊

▶ 秋の戦いがスタート、好機を生かせず逆転負け

昨秋の王者・日体大が、春は3位と悔しい結果に。王者へと返り咲くために、いいスタートを切りたい。開幕投手は速球派の馬場(3年・福岡大大濠)。初回、2回は4奪三振で無失点とテンポの良い投球を見せる。攻撃では、1回表に才田(1年・東海大相模)と鈴木斗(3年・山梨学院)の連打で1死二、三塁とすると、酒井(3年・東海大菅生)の遊ゴロで先制点を挙げた。ところが、3回裏に犠飛と失策で武蔵大に逆転を許してしまう。6回裏にも2死二塁のピンチを迎えたが、ワンポイントでマウンドに上がったリーグ戦初出場の左腕・諸星(2年・常総学院)が見事に抑える。7回表には代打・大海(4年・佐野日大)の犠飛で同点に追いつき、さあここからというところだったが、8回裏に武蔵大が4点を加え逆に突き放されてしまった。最後の攻撃は無得点に終わった日体大、秋は黒星スタートとなった。だが、勝負はここからだ。2連勝で勝ち点を挙げたい。



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	5	1	0
2	⑥	才田	1	東海大相模	3	1	0
	H	大海	4	佐野日大	0	0	1
	6	門間	2	東海大菅生	0	0	0
	H	木原	4	桐蔭学園	1	0	0
3	④	鈴木斗	3	山梨学院	5	2	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	1	1
5	⑨3	黒川	4	星陵	3	2	0
6	(D)	谷口翔	3	東海大相模	3	0	0
	HD	藤巻	3	日大三	0	0	0
7	③	門馬	4	東海大相模	3	0	0
	H9	中上	3	九州国際大付	1	0	0
8	⑤	角谷	3	星陵	3	2	0
	R5	賀川	1	大阪桐蔭	1	0	0
9	②	田邊	4	常総学院	3	0	0
					35	9	2

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
馬場	3	福岡大大濠	5 2/3	23	5	1
諸星	2	常総学院	1/3	1	0	0
●松尾	2	福岡大大濠	2	12	4	4
			8	36	9	5

(武蔵大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑦	種田	3	川越東	4	1	0
2	④	秋元	3	仙台育英学園	2	0	1
3	(D)	中橋	3	成田	4	3	0
4	②	岩田	4	日大二	4	1	1
5	⑤	窪田	2	東海大甲府	2	0	0
	H5	羽村	3	創価	1	0	0
	H	福與	4	東海大甲府	0	0	0
	5	池澤	4	桐蔭学園	0	0	0
6	③	山田昊	2	八王子	1	1	0
	H3	丹羽	1	帝京	2	1	2
7	⑧	松井	4	桐光学園	4	1	0
8	⑨	佐藤史	4	花巻東	2	1	1
9	⑥	小日向	1	東海大甲府	3	0	0
					29	9	5

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
小林	4	星槎国際湘南	6 1/3	27	7	1
菅沼麟	4	実践学園	2/3	3	0	0
○山田翼	3	山村学園	1	5	1	0
弓達	3	聖隷クリストファ	1	4	1	0
			9	39	9	1



二回戦

9月7日(日) 大田スタジアム

武蔵大	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6
日体大	0	0	0	0	1	0	3	0	0	4

【時間】8:59 ~ 12:02 (3時間3分) 【審判】C: 豊泉 I: 小林 II: 齊藤佑 III: 伊藤大
【二塁打】(武) 種田、(日) 才田

▶ 西平が6回無失点の好投も、4点差をひっくり返され連敗

左の西平(3年・近畿大付)が先発したこの試合、初回の2死一、三塁を無失点で切り抜けると、その後は危なげない投球で6回無失点と試合を作った。両チーム無得点のまま迎えた5回裏の日体大の攻撃、2死二塁の場面で才田(1年・東海大相模)がレフトに適時二塁打を打ち、待望の先制点が入った。7回裏にも2死一、二塁から才田が左前に打球を運ぶと、左翼手の返球が悪送球となり2点が入る。酒井(3年・東海大菅生)の左前適時打でさらに1点を加え、武蔵大との差は4点となった。ところが、8回表に武蔵大に連打を許し、四球や失策も絡み3失点と1点差まで迫られる。さらに、9回表には5四死球、2暴投と自滅する形で3点を与えてしまいそのまま敗戦となった。2連戦で、先制はしたが悔しい逆転負けとなったこのカード。気持ちを切り替えて、次週、春の王者・東海大との試合に臨みたい。



(武蔵大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑦	種田	3	川越東	3	2	0
2	④	秋元	3	仙台育英学園	3	0	0
3	(D)	中橋	3	成田	4	0	2
4	②	岩田	4	日大二	3	2	0
5	⑤	窪田	2	東海大甲府	2	0	0
	5	羽村	3	創価	1	0	0
	H	丸山	4	東福岡	1	1	1
	R5	池澤	4	桐蔭学園	0	0	0
	H	福與	4	東海大甲府	0	0	0
	5	西本	2	聖光学院	0	0	0
6	③	山田昊	2	八王子	3	1	1
7	⑧	松井	4	桐光学園	4	1	0
8	⑨	佐藤史	4	花巻東	3	1	0
	R	三浦麟	3	関東第一	0	0	0
	9	平野	3	東海大甲府	0	0	0
9	⑥	小日向	1	東海大甲府	3	0	0
					30	8	4

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
山口	3	上尾	6	24	5	1
山田翼	3	山村学園	1/3	3	1	0
石井	4	聖徳学園	2/3	5	2	0
浅沼	1	桐蔭学園	1/3	3	2	0
○菅沼麟	4	実践学園	2/3	3	0	0
弓達	3	聖隷クリストファ	1	5	1	0
			9	43	11	1

(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	4	0	0
2	⑥	才田	1	東海大相模	5	2	1
3	④	鈴木斗	3	山梨学院	4	1	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	5	1	1
5	⑨	黒川	4	星陵	5	2	0
6	(D)	岩田優	4	立花学園	3	1	0
	HD	高橋賢	3	西条	1	0	0
	HD	大海	3	佐野日大	0	0	0
7	⑤	角谷	3	星陵	4	3	0
	5	賀川	1	大阪桐蔭	0	0	0
	H	藤巻	3	日大三	1	0	0
8	③	門馬	4	東海大相模	2	1	0
9	②	田邊	4	常総学院	2	0	0
					36	11	2

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
西平	3	近畿大付	6	22	3	0
生盛	3	興南	1 2/3	10	4	3
篠原颯	4	池田	1/3	2	1	0
●諸星	2	常総学院	2/3	5	0	3
幸坂	3	徳島商	1/3	2	0	0
			9	41	8	6



第二節



東海大学戦

一回戦

9月13日(土) バッティングパレス相石スタジアムひらつか

東海大	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
日体大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1x	2

【時間】12:29 ~ 14:44 (2時間 15分) 【審判】C: 松田 I: 杉江 II: 増山 III: 齋藤佑
【本塁打】(日) 酒井 [1号ソロ] 【二塁打】(東) 中森、大前、(日) 小林聖

▶ 9回2死から四番の一発で追いつき、延長サヨナラ勝ち！

春の王者・東海大との1回戦。先週勝ち点を落とした日体大にとっては、必ず越えなければならない山だ。試合は序盤からこう着状態が続いた。日体大の馬場(3年・福岡大大濠)、東海大の米田が投手戦を繰り広げ、7回まで東海大は散発3安打、日体大は散発4安打となかなか得点の機会を掴めなかった。試合が動いたのは8回表、東海大が四球で出塁すると適時二塁打で1点を先制する。9回表は二番手で生盛(3年・興南)が登板し、無失点で最後の攻撃に繋がった。2死走者なしと追い込まれた日体大だったが、四番・酒井(3年・東海大菅生)の意地のひと振りて試合を振り出しに戻した。タイブレーク無死一、二塁から始まる延長戦、三番手の伊藤(4年・智辯和歌山)は1死満塁のピンチを作るも、最後は併殺で点を与えず。その裏、今度は日体大が敵失と申告敬遠で1死満塁のチャンスを迎え、小林聖(2年・浦和学院)のサヨナラ犠飛で今季初の白星を掴んだ。



(東海大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	大前	3	大阪桐蔭	4	1	1
2	④	三宅	4	広陵	3	0	0
	H	柳	4	八王子	1	0	0
	4	網島	1	日大三島	0	0	0
3	⑥	大塚	4	東海大相模	4	1	0
4	③	菅田	3	東海大相模	4	0	0
5	⑦	中島	2	国土館	3	0	0
	H	松本	2	東海大相模	1	0	0
	7	益岡	1	東海大甲府	0	0	0
6	(D)	大島	1	東邦	4	0	0
7	⑤	川田	3	羽黒	4	2	0
8	②	中森	1	敦賀気比	3	1	0
9	⑨	西	2	履正社	3	0	0
					34	5	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
米田	3	市立和歌山	9	32	6	1
●若山	4	東海大甲府	2/3	3	0	0
			92/3	35	6	1

(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	④5	鈴木斗	3	山梨学院	4	1	0
2	⑥	才田	1	東海大相模	4	0	0
3	⑨	黒川	4	星稜	4	0	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	2	1
5	⑤	角谷	3	星稜	4	0	0
	4	門間	2	東海大菅生	0	0	0
6	(D)	藤巻	3	日大三	4	0	0
7	③	門馬	4	東海大相模	2	0	0
8	⑧	小林聖	2	浦和学院	2	1	1
9	②	田邊	4	常総学院	3	2	0
					31	6	2

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
馬場	3	福岡大大濠	8	29	4	1
生盛	3	興南	1	3	0	0
○伊藤	4	智辯学園和歌山	1	3	1	0
			10	35	5	1

二回戦

9月14日(日) バッティングパレス相石スタジアムひらつか

日体大	1	0	0	1	0	0	0	1	4	7
東海大	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2

【時間】9:00 ~ 11:49 (2時間 49分) 【審判】C: 田中康 I: 田口 II: 齋藤伸 III: 山下
【本塁打】(日) 門馬 [1号2ラン] 【二塁打】(日) 鈴木斗、小林聖

▶ 鈴木斗が同点打と勝ち越し打、門馬のとどめの本塁打で快勝！

1回戦とは違って変わって、試合開始後すぐに試合が動く。先頭の鈴木斗(3年・山梨学院)が死球、三番・黒川(4年・星稜)が四球で出塁し、2死一、二塁となったところで、五番・指名打者の谷口翔(3年・東海大相模)が初球を左前に運び1点を先制する。3回に先発の西平(3年・近大付)が2点を失ったところで、すぐに二番手の篠原颯(4年・池田)にスイッチ。篠原は、3回途中から6回までのロングリリーフで無失点と好投した。1点を追う4回表に鈴木斗の右越適時二塁打で同点に追いつくと、8回表にも鈴木斗が右前適時打を打ち、逆転に成功。さらには9回表、8回から二塁の守備についていた門間(2年・東海大菅生)の2点中前適時打で突き放し、1死一塁から門馬(4年・東海大菅生)がレフト芝生席後方まで届くとどめの特大弾を放った。春の王者・東海大に連勝で勝ち点1をゲット。目を覚ました日体大の逆襲はここからだ。



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	④5	鈴木斗	3	山梨学院	5	2	2
2	⑥	才田	1	東海大相模	5	2	0
3	⑨	黒川	4	星稜	4	3	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	2	0
5	(D)	谷口翔	3	東海大相模	4	1	1
6	⑤	角谷	3	星稜	4	1	0
	4	門間	2	東海大菅生	1	1	2
7	③	門馬	4	東海大相模	4	1	2
8	⑧	小林聖	2	浦和学院	4	2	0
9	②	田邊	4	常総学院	3	0	0
					38	15	7

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
西平	3	近畿大附	2	11	2	0
篠原颯	4	池田	4	15	2	0
○松尾	2	福岡大大濠	1	4	0	0
生盛	3	興南	1	3	0	0
伊藤	4	智辯学園和歌山	1	3	0	0
			9	36	4	0

(東海大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	大前	3	大阪桐蔭	3	1	0
2	④	三宅	4	広陵	2	1	1
3	⑥	大塚	4	東海大相模	3	0	0
4	③	菅田	3	東海大相模	4	0	0
5	⑦	中島	2	国土館	2	0	0
	H	大島	1	東邦	1	1	0
	⑦	益岡	1	東海大甲府	1	0	0
6	②	中森	1	敦賀気比	4	0	0
7	⑤	川田	3	羽黒	4	1	0
8	(D)	兼松	2	東海大甲府	1	0	0
	HD	柳	4	八王子	2	0	0
9	⑨	西	2	履正社	2	0	0
	H	松本	2	東海大相模	1	0	0
					30	4	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
山口	1	大阪桐蔭	32/3	19	6	2
●庄司	3	東海大相模	32/3	15	4	1
若山	4	東海大甲府	2/3	4	1	0
庄田	3	東海大相模	1/3	5	3	4
西山	2	大体大浪商	2/3	3	1	0
			9	46	15	7



第三節

JOSAI

城西大学 戦

一回戦

9月27日(土) バッティングパレス相石スタジアムひらつか

日体大	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
城西大	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1x	3

【時間】15:06 ~ 18:08 (3時間2分) 【審判】C: 齋藤伸 I: 串田 II: 川上 III: 玉置
【二塁打】(城) 勝田、小林

▶ 延長 11 回までもつれこみ、無念のサヨナラ負け

先発の馬場(3年・福岡大大濠)が東海大1回戦に続き好投するも、城西大の星野も負けじと日体大打線に点を与えず、スコアボードには7回まで0が並んだ。

8回表、日体大がチャンスを迎えた。2死一塁で打席には谷口翔(3年・東海大相模)、一塁走者の黒川(4年・星稜)が二盗を成功させる。そして、谷口翔が左前に打球を運び黒川がホームイン。待ちに待った先制点を挙げた。

ところがその裏、城西大に1点を返され1-1のまま無死一、二塁から始まる延長タイブレークへ。10回表には、2死二、三塁から黒川の適時内野安打で1点を加えるも、またまた城西大に1点を返され試合は11回までもつれ込む。

11回表は1死満塁と大量得点のチャンスを作るも無得点に終わり、最後は城西大にスクイズを決められてサヨナラ負け。先発の馬場が7回2/3を投げ4安打1四球1失点といい内容だっただけに、なんとか勝利をもたらしたい一戦だった。



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	④5	鈴木斗	3	山梨学院	3	1	0
2	⑥	才田	1	東海大相模	5	2	0
3	⑨	黒川	4	星稜	4	1	1
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	5	1	0
5	(D)	谷口翔	3	東海大相模	2	2	1
6	⑤	角谷	3	星稜	3	0	0
	4	門間	2	東海大菅生	1	0	0
	H4	藤巻	3	日大三	0	0	0
7	③	門馬	4	東海大相模	5	0	0
8	⑧	小林聖	2	浦和学院	5	0	0
9	②	田邊	4	常総学院	4	1	0
					37	8	2

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
馬場	3	福岡大大濠	7 2/3	27	4	1
生盛	3	興南	1/3	4	0	0
●伊藤	4	智辯学園和歌山	2 1/3	11	2	0
			10 1/3	42	6	1

(城西大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	(D)	松川	4	関西	4	0	0
2	⑧	武井	4	西武台	4	1	1
3	⑤	永野	2	相洋	3	0	0
4	⑨	西鍛治	1	日大三	3	0	0
5	③	新田	4	八王子	2	0	0
6	⑦	大木大	3	日大豊山	2	0	0
	H	菅原	3	埼玉平成	1	0	0
	H4	丸山	1	常総学院	1	1	1
7	⑥	赤尾	3	聖隷クリストファ	3	0	0
	H	石井	2	国土館	1	0	0
	6	藤田	1	関東第一	0	0	0
8	④	勝田	4	尾道	3	2	0
	R7	古賀	2	健大高崎	1	0	0
9	②	白田	2	小諸商	1	0	0
	H2	小林	4	関西	2	2	1
					31	6	3

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
星野	3	八王子	5	20	5	0
木下	3	川越初雁	2	8	1	0
菊地	2	関東第一	2/3	3	0	1
○長塚	4	下関国際	3 1/3	13	2	0
			11	44	8	1



二回戦

9月28日(日) バッティングパレス相石スタジアムひらつか

城西大	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
日体大	0	0	0	0	0	0	4	0	x	4

【時間】12:22 ~ 14:44 (2時間22分) 【審判】C: 平山 I: 佐々木 II: 山下 III: 大庭

▶ 先制を許すも、好機を逃さず逆転勝ち

日体大の先発は左腕の西平(3年・近大付)、2回までは無失点だったが3回表に内野手の失策で走者を出すと適時打を打たれ、そこから2連続四球を与えてしまう。さらに押し出し四球で失点となったところで、篠原颯(4年・池田)がマウンドに上がる。東海大2回戦でもロングリリーフを成功させた篠原颯は、後続を抑えるとそこから8回までまたもや無失点投球でチームを助ける。

打線は6回まで無得点と苦しんだが、投手が代わった7回裏にチャンスを迎える。先頭の黒川(4年・星稜)が内野安打で出塁すると、1死一塁から代打攻勢で木原(4年・桐蔭学園)、岩田優(4年・立花学園)が打席に立ち、連続四球で出塁。次の田邊(4年・常総学園)が押し出し四球となり1点目が入った。さらに、才田(1年・東海大相模)の適時打、門馬(4年・東海大相模)の四球、鈴木斗(3年・山梨学院)の適時打でこの回4点を挙げ、そのまま勝利をもぎ取った。



(城西大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	(D)	松川	4	関西	3	0	0
2	⑧	武井	4	西武台	4	1	1
3	⑤	永野	2	相洋	3	3	0
4	⑨	西鍛治	1	日大三	3	1	0
5	③	新田	4	八王子	2	0	1
	H	石井	2	国土館	1	0	0
	3	長	4	鹿児島城西	0	0	0
6	⑦	甲斐	2	昌平	3	0	0
	7	古賀	2	健大高崎	0	0	0
	H	菅原	3	埼玉平成	1	1	0
7	⑥	赤尾	3	聖隷クリストファ	3	0	0
	H	大木大	3	日大豊山	1	0	0
8	④	勝田	4	尾道	4	0	0
9	②	白田	2	小諸商	3	0	0
					31	6	2

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
鈴木耀	1	昌平	6	22	4	0
●木下	3	川越初雁	1/3	5	1	4
菊地	2	関東第一	0	3	2	0
星野	3	八王子	1 2/3	5	0	0
			8	35	7	4

(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑥	才田	1	東海大相模	4	1	1
2	④	石垣	2	いなべ総合学園	2	0	0
	H3	門馬	4	東海大相模	0	0	1
3	⑤	鈴木斗	3	山梨学院	4	2	1
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	0	0
5	③9	黒川	4	星稜	4	1	0
6	⑨	谷口翔	3	東海大相模	3	1	0
	4	門間	2	東海大菅生	1	0	0
7	(D)	飯島翼	2	智辯学園	1	0	0
	HD	木原	4	桐蔭学園	1	0	0
8	⑧	小林聖	2	浦和学院	2	1	0
	H	岩田優	4	立花学園	0	0	0
	R8	大海	3	佐野日大	1	0	0
9	②	田邊	4	常総学院	2	1	1
					29	7	4

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
西平	3	近畿大附	2 2/3	14	2	0
○篠原颯	4	池田	5 1/3	18	3	0
伊藤	4	智辯学園和歌山	1	3	1	0
			9	35	6	0

三回戦

10月25日(土) 大田スタジアム

日体大	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3
城西大	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2

【時間】12:29 ~ 14:44 (2時間24分) 【審判】C: 松田 I: 杉江 II: 増山 III: 齊藤佑
【本塁打】(日) 酒井 [10号ソロ] 【二塁打】(東) 中森、大前、(日) 小林聖

▶ 関東地区大学選手権出場に望みをつなぐ1勝

この日の第一試合で筑波大が38季ぶり5回目の優勝を決めたため、日体大は関東地区大学選手権の出場権を獲得するために、ここからは2位を目指すこととなった。まずはこの試合に勝たなければならない。

ここまで防御率リーグ1位、と安定した投球を続けている馬場(3年・福岡大大濠)が先発。立ち上がりからリズムよくスコアボードに0を刻んでいく。2回表、先頭の酒井(3年・東海大菅生)がレフトに三塁打を打ち、先制のチャンスを迎えた日体大。続いて打席に入った高橋賢(3年・西条)が犠飛を打った。

4回表には、西田(2年・明石商)と田邊(4年・常総学院)の単打と小林聖(2年・浦和学院)の四球で2死満塁とし、才田(1年・東海大相模)の適時打で2点目を挙げる。

2-1の1点リードで迎えた9回表には、小林聖を三塁に置いて才田がスクイズ。9回裏、1点差に迫られたが3-2で辛勝。勝ち点と勝率をあげる大きな1勝となった。



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	④5	鈴木斗	3	山梨学院	5	0	0
2	⑥	才田	1	東海大相模	4	2	2
3	③	黒川	4	星稜	3	2	0
	3	門馬	4	東海大相模	0	0	0
4	⑨	谷口翔	3	東海大相模	4	0	0
5	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	1	0
6	(D)	高橋賢	3	西条	2	0	1
7	⑤	西田	2	明石商	3	2	0
	4	門間	2	東海大菅生	0	0	0
8	②	田邊	4	常総学院	4	1	0
9	⑧	小林聖	2	浦和学院	3	1	0
					32	9	3

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○馬場	3	福岡大大濠	6	24	4	1
篠原颯	4	池田	1	5	1	0
関戸	4	大阪桐蔭	2	9	2	1
			9	38	7	2

(城西大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑤	永野	2	相洋	4	0	0
	H	新津	4	小諸商	1	0	0
2	⑧	武井	4	西武台	5	1	0
3	②	小林	4	関西	4	1	0
4	⑨	西鍛治	1	日大三	3	1	0
5	(D)	松川	4	関西	3	1	1
6	③	新田	4	八王子	4	0	0
7	⑦	松尾	3	東大阪大柏原	3	2	0
	R	古賀	2	健大高崎	0	0	0
8	⑥	赤尾	3	聖隷クリストファ	1	0	0
	H	石井	2	国土館	1	1	1
	R	藤田	1	関東第一	0	0	0
9	④	勝田	4	尾道	0	0	0
					29	7	2

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●鈴木耀	1	昌平	3 1/3	18	7	2
菊地	2	関東第一	2/3	3	1	0
星野	3	八王子	5	19	1	1
			9	40	9	3



第四節

TSUKUBA

筑波大学 戦

一回戦

10月4日(土) J:COM スタジアム土浦

筑波大	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
日体大	1	1	1	0	2	0	0	0	x	5

【時間】12:32 ~ 14:57 (2時間10分) 【審判】C: 畠山 I: 田口 II: 河井 III: 三谷
【本塁打】(筑) 米田 [2号2ラン]、(日) 小林聖、高橋賢、西田、鈴木斗 [全員1号ソロ] 【二塁打】(筑) 宮澤

▶ 4本のソロ本塁打、一発攻勢で得点重ねる

筑波大の新エース・山田幹を相手に、日体大ナインのバットが火を噴く。1回裏、この日二番で出場の小林聖(2年・浦和学院)が1点本塁打を打ち、日体大が先制。2回裏には、指名打者で今季初スタメンの七番・高橋賢(3年・西条)もセンター方向に1点本塁打を放つ。

3回裏には、谷口翔(3年・東海大相模)の左前適時打でさらに1点を加えると、5回裏にはこちらも今季初スタメンの九番・西田(2年・明石商)がこの日チーム3本目の1点本塁打をライト芝生席に運んだ。極めつきは鈴木斗(3年・山梨学院)の1点本塁打で、1点本塁打4本を含む5打点の大量リードで試合を折り返す。

6回表には、二番手の伊藤(4年・智辯学園和歌山)が米田に2点本塁打を打たれたが、それ以降はビシッと抑えて5-2で勝利。常々「調子の良い選手から起用していく」と言っている古城監督。今季初スタメンに起用された高橋賢と西田の活躍が、勝利を呼び込んだ。



【筑波大】

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑥	宮澤	3	花巻東	3	1	0
2	⑦	川上	4	旭川実	4	0	0
3	⑧	岡城	4	岡山一宮	3	2	0
4	⑤	米田	4	明豊	4	2	2
5	②	西川	4	中京大中京	4	1	0
6	⑨	堀江	4	健大高崎	3	1	0
7	(D)	田代	3	花巻東	2	0	0
	HD	吉田	3	県立相模原	1	0	0
8	④	西口	1	敦賀気比	3	0	0
	H	長田	2	國學院大栃木	1	0	0
9	③	本間	4	刈谷	2	0	0
	H	岩山	4	半田	1	0	0
					31	7	2

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●山田幹	2	彦根東	3	14	3	3
○小林理	2	県立相模原	5	20	4	2
			8	34	7	5

【日体大】

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑥	才田	1	東海大相模	3	0	0
2	⑧	小林聖	2	浦和学院	4	1	1
3	④⑤	鈴木斗	3	山梨学院	3	1	1
4	⑨	谷口翔	3	東海大相模	4	1	1
5	③	黒川	4	星稜	4	1	0
6	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	0	0
7	(D)	高橋賢	3	西条	4	2	1
8	②	田邊	4	常総学院	3	0	0
9	⑤	西田	2	明石商	2	1	1
	4	門間	2	東海大菅生	0	0	0
					31	7	5

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○馬場	3	福岡大大濠	5	20	4	0
伊藤	4	智辯学園和歌山	4	16	3	2
			9	36	7	2



二回戦

10月5日(日) J:COM スタジアム土浦

日体大	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
筑波大	3	1	1	1	0	0	0	0	x	6

【時間】9:00 ~ 11:40 (2時間40分) 【審判】C: 中川 I: 山下 II: 田中康 III: 深澤
【本塁打】(日) 鈴木斗 [2号ソロ] 【二塁打】(日) 酒井、(筑) 米田、西川

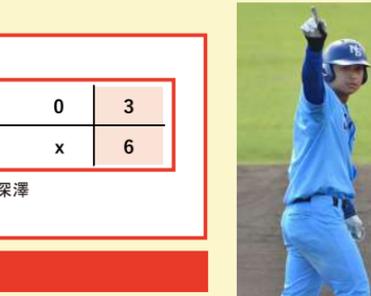
▶ 13安打で3点止まり、連勝ならず1勝1敗に

1回戦に続き、1回表から谷口翔(3年・東海大相模)の1点中前適時打で先制し、幸先の良いスタート。だが、ここまでリリーフでは好投していた先発の篠原颯(4年・池田)が1回裏に4安打を浴び、一塁手の失策もあって3点を失うという思わぬ展開に。

3回表には鈴木斗(3年・山梨学院)が2戦連続の1点本塁打を打ち、6回表には4回裏からマスクを被っていた田川(2年・長崎海星)の中前適時打でさらに1点を加えたが、筑波大にも2回、3回、4回と1点ずつ加えられ3-6で敗戦となった。

6回裏から四番手でマウンドに上がった関戸(4年・大阪桐蔭)は3季ぶりの登板。最速152キロを計測し2回無失点と、今後の戦力として期待できる結果を残した。

今季も混戦を極める首都大学野球リーグ戦。筑波大との闘いも3回戦までもつれ込むことになったが、勝ち点獲得に向けてもうひと踏ん張りしたい。



【日体大】

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑥	才田	1	東海大相模	5	2	0
2	⑧	小林聖	2	浦和学院	3	0	0
3	④	鈴木斗	3	山梨学院	3	1	1
4	⑨	谷口翔	3	東海大相模	4	2	1
5	③	黒川	4	星稜	4	2	0
6	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	1	0
7	(D)	高橋賢	3	西条	4	1	0
8	②	田邊	4	常総学院	2	1	0
	2	田川	2	長崎海星	2	1	1
9	⑤	西田	2	明石商	4	2	0
					35	13	3

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●篠原颯	4	池田	2	14	6	3
松尾	2	福岡大大濠	11/3	8	2	2
池本	4	東海大相模	12/3	6	1	0
関戸	4	大阪桐蔭	2	6	0	0
伊藤	4	智辯学園和歌山	1	4	2	0
			8	38	11	5

【筑波大】

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑥	宮澤	3	花巻東	4	1	1
2	⑦	川上	4	旭川実	4	3	0
3	⑧	岡城	4	岡山一宮	4	1	0
4	⑤	米田	4	明豊	3	2	2
5	②	西川	4	中京大中京	4	1	1
6	⑨	堀江	4	健大高崎	4	1	1
7	(D)	山崎	4	高松商	4	1	1
8	④	西口	1	敦賀気比	3	0	0
9	③	五十嵐俊	4	三条	2	1	0
	R3	本間	4	刈谷	0	0	0
					32	11	6

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
友廣	2	北陸	3 2/3	18	9	2
○小林理	2	県立相模原	5 1/3	19	4	1
			9	37	13	3



三回戦

10月12日(日) J:COM スタジアム土浦

日体大	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
筑波大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

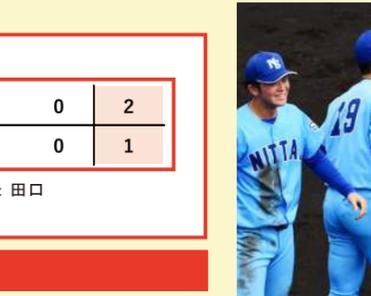
【時間】10:30 ~ 13:16 (2時間46分) 【審判】C: 鈴木研 I: 森 II: 矢部 III: 田口
【本塁打】(日) 酒井 [2号ソロ]

▶ ギリギリの勝利、光る守備でゲームセット

1勝1敗で迎えた3回戦。先制したのはまたもや日体大だった。2回表、この回先頭の四番・酒井(3年・東海大菅生)に今季2号の1点本塁打が飛び出した。3回表には、先頭の西田(2年・明石商)が四球で出塁、次の門間(2年・東海大菅生)は三振に倒れたが西田が盗塁し1死二塁のチャンスを作る。小林聖(2年・浦和学院)が初球を右前に運び1死一、三塁とすると、才田(1年・東海大相模)のセーフティースクイズで西田がホームを踏み2点目。

先発投手の馬場(3年・福岡大大濠)は、初回こそ1死一、三塁のピンチを作ったが、結果的に5回無失点でマウンドを降りた。6回、7回は関戸(4年・大阪桐蔭)が投げた1失点、8回、9回は伊藤(4年・智辯学園和歌山)が無失点と踏ん張った。

9回裏、2死満塁のピンチで前進守備の日体大、外野の頭を越えていく右中間の打球をセンターの小林聖がダイビングキャッチしてゲームセット。勝ち点1を獲得した。



【日体大】

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	5	2	0
2	⑥	才田	1	東海大相模	3	1	1
3	⑨	谷口翔	3	東海大相模	4	1	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	3	1	1
5	③	黒川	4	星稜	4	0	0
6	(D)	高橋賢	3	西条	2	1	0
7	②	田邊	4	常総学院	4	0	0
8	⑤	西田	2	明石商	2	0	0
9	④	門間	2	東海大菅生	3	0	0
					30	6	2

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○馬場	3	福岡大大濠	5	21	3	0
関戸	4	大阪桐蔭	2	11	3	1
伊藤	4	智辯学園和歌山	2	10	1	0
			9	42	7	1

【筑波大】

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑥	宮澤	3	花巻東	3	0	0
2	⑦	川上	4	旭川実	3	2	0
3	⑧	岡城	4	岡山一宮	4	2	0
4	⑤③	米田	4	明豊	2	1	1
5	②	西川	4	中京大中京	4	0	0
6	⑨	堀江	4	健大高崎	5	1	0
7	(D)	山崎	4	高松商	2	0	0
8	④	西口	1	敦賀気比	4	1	0
9	③	五十嵐俊	4	三条	2	0	0
	H	田代	3	花巻東	1	0	0
	3	本間	4	刈谷	0	0	0
	H5	長田	2	國學院大栃木	1	0	0
					31	7	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
山田幹	2	彦根東	5	20	5	2
小林理	2	県立相模原	4	17	1	0
			9	37	6	2



第五節

TEIKYO

帝京大学 戦

一回戦

10月18日(土) 浦安市運動公園野球場

日体大	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3
帝京大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

【時間】12:32 ~ 14:44 (2時間12分) 【審判】C: 深澤 I: 武藤 II: 橋本 III: 森
【三塁打】(帝) 中山 【二塁打】(帝) 山本

▶ 主将・黒川が2打点、少ないチャンスを生かした勝利

1回表、才田(1年・東海大相模)が左前安打、谷口翔(3年・東海大相模)が四球で出塁、2死一、三塁とすると黒川(4年・星陵)が右前に打球を運び、1点を先制する。ところが、その裏すぐにも黒川が同点に追いつかれ、さらに2回から6回までは得点できないどころかひとりも出塁できないという苦しい展開に。走者は出していたが得点を与えない投球を続けていた先発・馬場(3年・福岡大大濠)のためにも、なんとか先に次の1点が欲しい日体大は7回表、2死から西田(2年・明石商)が四球、田邊(4年・常総学院)が右前安打で出塁し、一、三塁のチャンスを作る。門間(2年・東海大菅生)の打席、相手投手の暴投で待望の2点目が入った。さらに8回表、2死一、三塁から黒川が本日2度目の右前適時打を打ち、点差を広げる。8回まで投げた馬場の失点は初回の1点のみ、9回は関戸(4年・大阪桐蔭)が締めて3-1で勝利した。



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	小林聖	2	浦和学院	4	0	0
2	⑥	才田	1	東海大相模	4	2	0
3	⑨	谷口翔	3	東海大相模	3	1	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	4	0	0
5	③	黒川	4	星陵	4	2	2
6	(D)	門馬	4	東海大相模	2	0	0
	HD	高橋賢	3	西条	1	0	0
7	⑤	西田	2	明石商	3	0	0
	5	賀川	1	大阪桐蔭	0	0	0
8	②	田邊	4	常総学院	4	1	0
9	④	門間	2	東海大菅生	4	0	0
					33	6	2

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○馬場	3	福岡大大濠	8	30	4	1
関戸	4	大阪桐蔭	1	5	2	0
			9	35	6	1



(帝京大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑨	中山	2	宇都宮工	4	1	0
2	⑥	金澤	3	日大三	4	0	0
3	⑧	彦坂	4	享栄	3	1	1
4	⑤	森田	2	履正社	4	0	0
5	(D)	山田	3	滋賀学園	4	2	0
6	③	牧原	1	日大藤沢	2	0	0
	H	大竹	4	関根学園	1	0	0
7	②	池田	4	宇都宮工	3	1	0
	R	森龍	3	徳島商	0	0	0
8	④	宮城	4	山口県桜ヶ丘	4	0	0
9	⑦	山本	4	聖望学園	3	1	0
					32	6	1

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●宮田	4	和歌山商	7	27	3	2
功刀	4	宇都宮工	2/3	4	2	1
連	2	帝京第三	1/3	2	1	0
久野	4	岡山学芸館	1	3	0	0
			9	36	6	3



二回戦

10月19日(日) 浦安市運動公園野球場

帝京大	4	0	2	0	1	1	0	0	0	8
日体大	0	0	0	2	0	0	0	4	0	6

【時間】9:00 ~ 11:58 (2時間58分) 【審判】C: 伊藤大 I: 田口 II: 河井 III: 伊藤勝
【本塁打】(帝) 山田 [1号ソロ] 【三塁打】(帝) 池田2 【二塁打】(帝) 中山、(日) 黒川、酒井

▶ 序盤から大量失点、終盤に追い上げるも追いつけず

ピンチは初回から訪れた。先攻の帝京大が先頭から安打、四球、四球で無死満塁を作り、適時打と押し出し四球で得点。先発の西平(3年・近大付)は1アウトも取れないまま降板となった。代わった池本(4年・東海大相模)も押し出し四球と犠飛で得点を与えてしまったが、続くピンチをなんとか抑える。3回表には、その池本が2点を失ったところで篠原颯(4年・池田)にスイッチ、後続を抑えた。4回裏、日体大は無死満塁のチャンスを作り、代打・田川(2年・長崎海星)の押し出し四球、同じく代打で出場した石垣(2年・いなべ総合学園)の犠飛で2点を返し得点差は4に縮まった。だが、5回、6回を投げた四番手の生盛(3年・興南)が2失点で再び6点差に。それでも8回裏、相手のバッテリーミスや田川の適時打で4点を挙げ2点差に迫る。なんとか追いきたい9回裏、1死一、二塁と再びチャンスを作ったが、最後は併殺打で力尽きた。



(帝京大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑨	中山	2	宇都宮工	4	4	1
2	⑥	金澤	3	日大三	3	0	0
3	⑧	彦坂	4	享栄	4	0	0
4	⑤	森田	2	履正社	5	2	1
5	(D)	山田	3	滋賀学園	4	1	2
6	③	牧原	1	日大藤沢	3	1	1
	H	岩田	4	日本文理	1	0	0
	3	森剣	2	創志学園	0	0	0
7	②	池田	4	宇都宮工	4	2	2
8	④	宮城	4	山口県桜ヶ丘	5	1	1
9	⑦	山本	4	聖望学園	3	0	0
	7	浅田	1	浦和学院	0	0	0
					36	11	8

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
渡邊	3	西武台	3	15	4	2
功刀	4	宇都宮工	0/3	2	0	0
○連	2	帝京第三	4 2/3	19	2	0
伊藤	3	八王子北	2/3	3	0	0
久野	4	岡山学芸館	2/3	3	1	0
			9	42	7	2



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑥	才田	1	東海大相模	4	0	0
2	⑧	小林聖	2	浦和学院	2	0	0
	H	岩田優	4	立花学園	1	0	0
8	大海	3	佐野日大	0	0	0	
	H	北島	2	東海大菅生	1	0	0
	3	門馬	4	東海大相模	0	0	0
3	⑨	谷口翔	3	東海大相模	5	1	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	5	1	0
5	③⑧	黒川	4	星陵	4	1	0
6	(D)	高橋賢	3	西条	5	2	0
7	⑤	西田	2	明石商	2	0	0
8	②	田邊	4	常総学院	1	1	0
	H2	田川	2	長崎海星	2	1	3
9	④	門間	2	東海大菅生	1	0	0
	H4	石垣	2	いなべ総合学園	1	0	1
					34	7	4

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●西平	3	近畿大附	0/3	5	2	4
池本	4	東海大相模	2 2/3	13	4	2
篠原颯	4	池田	1 1/3	6	1	0
生盛	3	興南	2	10	3	2
松尾	2	福岡大大濠	3	10	1	0
			9	44	11	8

三回戦

10月28日(火) サーティーフォー相模原球場

日体大	0	2	0	2	1	0	0	0	0	5
帝京大	0	1	4	0	0	1	0	0	x	6

【時間】13:00 ~ 16:00 (所要時間: 3時間0分) 【審判】C: 豊泉 I: 大庭 II: 望月 III: 杉江
【二塁打】(日) 高橋賢、田邊、西田、(帝) 金澤

▶ 両軍合わせて26安打、力尽きて今季も3位で終戦

城西大3回戦から中2日で行われた帝京大3回戦。この試合に勝った方が2位となり、関東地区大学選手権に出場できる。ここまでリリーフ登板してきた伊藤(4年・智辯和歌山)が初先発。2回表に、バッテリーを組む田邊(4年・常総学院)が先制の2点適時二塁打を打つ。このリードを守りたい伊藤だが、2回裏には1点本塁打を打たれ、3回裏にも連打で2点を失い、この回途中で降板。二番手の篠原颯(4年・池田)も連打され2-5と3点を追う展開になった。4回表、田邊が今度は2点本塁打を放ち1点差に迫る。さらに5回表には、1死一、三塁から西田(2年・明石商)が左中間に打球を運び同点に追いつく。だが6回裏、本塁打を含む2安打2打点の帝京大・池田に追加点を許し、再びピハインの展開に。この1点差が最後まで縮まらなかった。試合後、作戦面で「もったいない選択があったと思う」と悔しさをにじませた古城監督。春に続き3位となった。



(日体大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	④	鈴木斗	3	山梨学院	4	2	0
2	⑥	才田	1	東海大相模	5	1	0
3	③	黒川	4	星陵	5	0	0
4	⑦	酒井	3	東海大菅生	3	0	0
5	⑨	谷口翔	3	東海大相模	3	1	0
	R	中上	3	九州国際大付	0	0	0
6	(D)	高橋賢	3	西条	4	2	0
7	⑤	西田	2	明石商	3	1	1
8	②	田邊	4	常総学院	4	3	4
9	⑧	小林聖	2	浦和学院	4	1	0
					35	11	5

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
伊藤	4	智辯学園和歌山	2 1/3	15	6	5
●篠原颯	4	池田	3 2/3	18	8	1
馬場	3	福岡大大濠	2	8	1	0
			8	41	15	6



(帝京大)

打順	位置	氏名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑨	中山	2	宇都宮工	5	0	0
2	⑥	金澤	3	日大三	4	2	0
3	⑧	彦坂	4	享栄	4	3	0
4	⑤	森田	2	履正社	5	1	0
5	(D)	山田	3	滋賀学園	5	2	1
6	②	池田	4	宇都宮工	4	3	3
7	③	牧原	1	日大藤沢	3	0	0
8	⑦	山本	4	聖望学園	2	2	1
	7	浅田	1	浦和学院	0	0	0
9	④	宮城	4	山口県桜ヶ丘	3	2	1
					35	15	6

氏名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
宮田	4	和歌山商	4 1/3	23	5	5
○連	2	帝京第三	1 2/3	8	4	0
近藤	1	大宮東	1	4	1	0
久野	4	岡山学芸館	2	8	1	0
			9	43	11	5



AUTUMN LEAGUE RECORD-2025

WIN-LOSS STANDINGS

順位	大学名	筑波大学	帝京大学	日体大	武蔵大	東海大	城西大	試合	勝	負	勝点	勝率
優勝	筑波大	-	●2-3 ○13-4 ○7-3	●2-5 ○6-3 ●1-2	○6-1 ●0-1 ○5x-4	○5-2 ○4-2	○10-2 ○2-1	13	9	4	4	0.69
2	帝京大	○3-2 ●4-13 ●3-7	-	●1-3 ○8-6 ○6-5	●1-4 ○7-2 ○4-2	○4-1 ●3-7 ※1 △5-5 ○8-6	○9-2 ○5-2	15	9	5	4	0.64
3	日体大	○5-2 ●3-6 ○2-1	○3-1 ●6-8 ●6-5	-	●2-6 ●4-6	○2x-1 ○7-2	●2-3x ○4-2 ○3-2	13	7	6	3	0.54
4	武蔵大	●1-6 ○1-0 ●4-5x	○4-1 ●2-7 ●2-4	○6-2 ○6-4	-	○7-2 ○1-0	●0-1 ●1-9	12	6	6	2	0.5
5	東海大	●2-5 ●2-4	●1-4 ○7-3 ※1 △5-5 ●6-8	●1-2x ●2-7	●2-7 ●0-1	-	○3-1 ○3-0	12	3	8	1	0.27
6	城西大	●2-10 ●1-2	●2-9 ●2-5	○3x-2 ●2-4 ●2-3	○1-0 ○9-1	●1-3 ●0-3	-	11	3	8	1	0.27

※1 10月25日(土)東海大・帝京大の試合が9回終了時点で、球場使用時間のため、引き分け再試合
 ※2 東海大学と城西大学が同点同率のため、順位決定戦を行いました。

AWARDED ATHLETE

■ 最高殊勲選手 米田 友 【筑波大・4年(初)】

■ 最優秀投手 馬場拓海 【日体大・3年(初)】

■ 首位打者 川上 拓巳 【筑波大・4年(初)】

■ ベストナイン

● 投手 小林 理瑛 【筑波大・2年(初)】

● 捕手 田邊 広大 【日体大・4年(初)】

● 一塁手 黒川 怜遠 【日体大・4年(初)】

● 二塁手 勝田 心 【城西大・4年(2)】

● 三塁手 森田 大翔 【帝京大・2年(2)】

● 遊撃手 金澤 海斗 【帝京大・3年(初)】

● 外野手 川上 拓巳 【筑波大・4年(初※)】

● 外野手 岡城 快生 【筑波大・4年(3)】

● 外野手 中山 鳳 【帝京大・2年(初)】

● 指名打者 山田 一晴 【帝京大・3年(2)】

※ベストナイン・指名打者で1回

BEST 10 PITCHER

順位	氏名	大学	学年	試合	勝	敗	投球回	奪三振	失点	自责点	防御率
1	馬場 拓海	日体大	3	8	4	0	47 1/3	39	6	5	0.95
2	小林 理瑛	筑波大	2	12	3	1	46 1/3	29	9	7	1.36
3	星野 翔太	城西大	3	10	0	3	27 1/3	14	12	5	1.65
4	庄司 裕太	東海大	3	6	1	4	35 2/3	21	12	7	1.77
5	小林 匠	武蔵大	4	7	2	2	46	27	15	10	1.96
6	川口 翔太郎	武蔵大	3	6	0	3	28 2/3	10	10	9	2.83
7	山田 幹太	筑波大	2	9	4	3	47	37	17	16	3.06
8	鈴木 耀斗	城西大	1	6	1	4	29 1/3	22	11	10	3.07
9	宮田 率生	帝京大	4	8	3	3	46 2/3	22	21	18	3.47
10	米田 天翼	東海大	3	6	1	2	24 2/3	18	10	10	3.65

BEST 10 HITTER

順位	氏名	大学	学年	試合	打席	打数	安打	本塁打	打点	四死球	打率
1	川上 拓巳	筑波大	4	12	54	42	20	0	1	8	0.476
2	森田 大翔	帝京大	2	15	65	60	25	3	9	5	0.417
3	岡城 快生	筑波大	4	13	61	51	18	1	7	9	0.353
4	勝田 心	城西大	4	11	36	29	10	1	2	3	0.345
5	山田 一晴	帝京大	3	15	68	59	20	1	12	8	0.339
6	金澤 海斗	帝京大	3	15	66	57	19	1	5	7	0.333
6	池田 竜己	帝京大	4	15	62	57	19	3	10	4	0.333
6	川田 海	東海大	3	12	44	36	12	0	3	0	0.333
6	中山 鳳	帝京大	2	14	67	58	19	0	7	9	0.328
7	黒川 怜遠	日体大	4	13	58	52	17	0	3	4	0.327

横浜・健志台 キャンパス

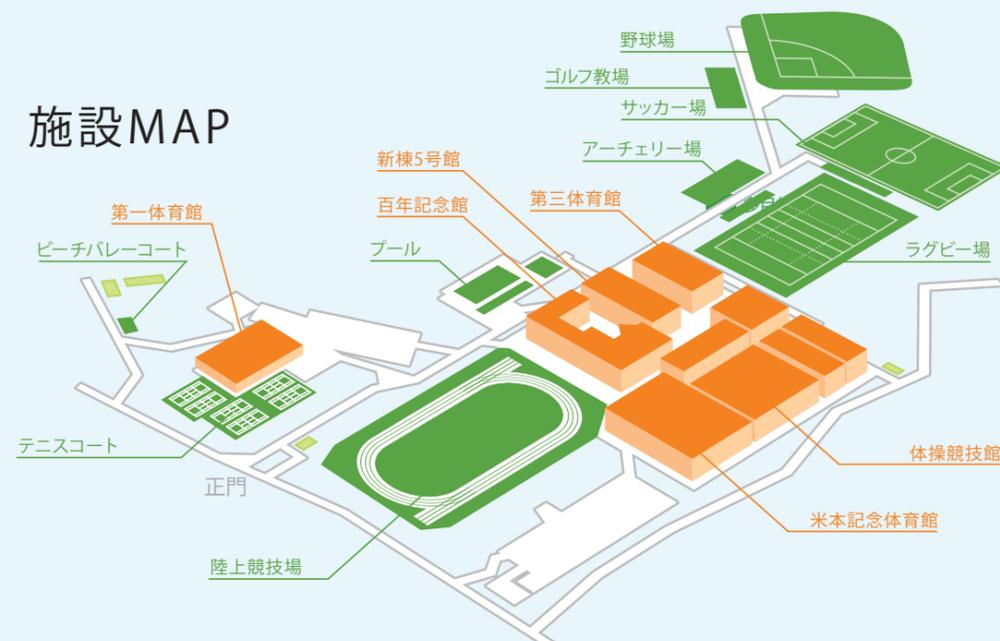
体育学部

スポーツマネジメント学部

保健医療学部

Yokohama-Kenshidai
Campus

施設MAP



スポーツ文化 創造の場

教室や健康管理センター、スポーツトレーニングセンターなどが併設された百年記念館を中心に、各種スポーツ施設を完備。図書館なども用意され、学生は安心して学修、クラブ活動に打ち込めます。

施設概要 付帯施設

住居表示 神奈川県横浜市青葉区

鴨志田町1221-1

敷地面積 172,341.89m²

建築面積 21,793.18m²(12棟体育館など含む)

延床面積 56,582.07m²

構造種別 陸上競技場、プール棟(50m、飛込)、野球場、サッカー場、ラグビー場、テニスコート、ゴルフ教場、アーチェリー場

■ みずほ銀行ATM

■ 学生サポートデスク

■ 店舗(三省堂、ササキスポーツ、ローソン、スポーツデポ)

Nittaidai Kenshidai BallPark

野球場動画 ▶



ベンチ (3 塁側)



フルベン (1 塁側)



フルベン (3 塁側)



スコアボード



室内練習場 (地下)



バッティングケージ



ファールゾーン (3 塁側)



スタンド



トレーナーズルーム



トレーナーズルーム



トレーニング室



トレーニング室





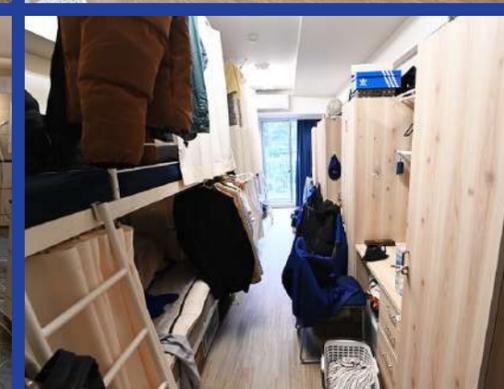
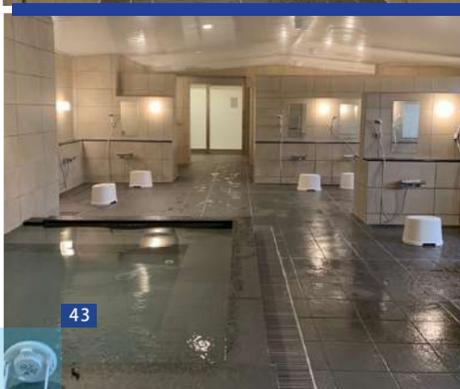
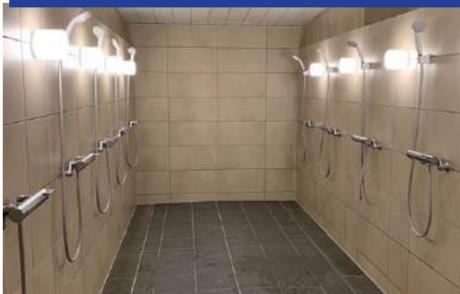
健志台寮

〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町字上谷戸 946-2



ドーミー長津田

〒226-0027 神奈川県横浜市緑区長津田 2 丁目 19-3



プロ・社会人野球で活躍するOB

プロ野球

卒業年度	氏名	所属	ポジション	卒業年度	氏名	所属	ポジション
S58年度卒	白武 佳久	広島東洋カープ	スカウト	H21年度卒	霧岡 賢二郎	横浜DeNAベイスターズ	コーチ
H2年度卒	齋藤 充弘	東京ヤクルトスワローズ	スタッフ 球団取締役	H27年度卒	大貫 晋一	横浜DeNAベイスターズ	投手
H7年度卒	百瀬 喜与志	ボストンレッドソックス	コーチ	H30年度卒	東妻 勇輔	千葉ロッテマリーンズ	投手
H12年度卒	佐藤 充	中日ドラゴンズ	スタッフ		松本 航	埼玉西武ライオンズ	投手
H14年度卒	小林 宏平	東京ヤクルトスワローズ	トレーナー	R元年度卒	柴田 大地	東北楽天ゴールデンイーグルス	投手
H19年度卒	藤本 康人	福岡ソフトバンクホークス	トレーナー	R2年度卒	森 博人	中日ドラゴンズ	投手
	松浦 直幸	東京ヤクルトスワローズ	トレーナー	R3年度卒	矢澤 宏太	北海道日本ハムファイターズ	投手
H21年度卒	霧岡 賢二郎	横浜DeNAベイスターズ	コーチ	R6年度卒	寺西 成騎	オリックスバッファローズ	投手

独立リーグ

卒業年度	氏名	所属	ポジション	卒業年度	氏名	所属	ポジション
R元年度卒	山田 雄照	美唄ブラックダイヤモンド	投手	R5年度卒	田中 力	香川オリブガイナース	内野手

社会人野球

卒業年度	氏名	所属	ポジション	卒業年度	氏名	所属	ポジション	
H06年度卒	竹間 容祐	日本生命	監督	R4年度卒	岡田 龍生	島津製作所	投手	
H08年度卒	林 治郎	日立製作所	監督	R5年度卒	坪井 飛翼	JR盛岡	投手	
H25年度卒	小柳 卓也	三菱重工East	外野手		嶺 太陽	SUNホールディングスWEST	投手	
H26年度卒	島田 直人	日本製鉄鹿島	マネージャー		渡邊 敬太	島津製作所	投手	
H27年度卒	下川原 駿	JR千葉	投手		重宮 涼	日本製鉄広畑	内野手	
H29年度卒	坂本 耕哉	光シーガルズ	内野手		中島 優仁	鷺宮製作所	内野手	
	菅沼 賢一	ホンダ熊本	マネージャー		松浦 佑星	ENEOS	内野手	
H30年度卒	船山 貴大	日本生命	内野手		中妻 翔	東芝	外野手	
	森岡 竜也	オールフロンティア	外野手	本間 巧真	JFE東日本	外野手		
	R元年度卒	吉田 大喜	東邦ガス	投手	R6年度卒	宮下 大地	日立製作所	投手
		馬場 龍星	東京ガス	捕手		箱山 優	SUBARU	投手
上西 嵐満	JFE西日本	外野手	山下 航汰	三菱自動車岡崎		捕手		
大木 惇司	東邦ガス	外野手	南 大輔	東芝		外野手		
R2年度卒	高垣 鋭次	東邦ガス	内野手	古滝 友哉	ティ・エスティック	外野手		
R3年度卒	筒井 恒匡	JFE西日本	投手					
	猪原 隆雅	ミキハウス	外野手					
	三野原 愛望	KMGホールディングス	内野手					

クラブチーム

卒業年度	氏名	所属	ポジション	卒業年度	氏名	所属	ポジション
H14年度卒	山本 貴紀	大和高田クラブ	監督	R6年度卒	原田 航介	トクキュウ・ブルーローズ	投手
R元年度卒	有住 隆哉	YBC柏	外野手		井上 隼斗	大和高田クラブ	内野手
R5年度卒	上羽 哲平	マツゲン箕島硬式野球部	投手		小関 慎之助	トクキュウ・ブルーローズ	内野手
	溝尾 海陸	大和高田クラブ	投手	古滝 友哉	ティ・エスティック	外野手	
	望月 大雅	トクキュウ・ブルーローズ	投手				
	辻 健志	トクキュウ・ブルーローズ	内野手				

今年度で引退されるOB

卒業年度	氏名	所属	ポジション	卒業年度	氏名	所属	ポジション
H27年度卒	若林 俊充	東邦ガス	内野手	R5年度卒	櫻井 仁生	マツゲン箕島硬式野球部	捕手
R2年度卒	吉高 壯	日本生命	投手	R6年度卒	小吹 悠人	エイジック	内野手
R3年度卒	水野 晋太郎	島津製作所	内野手				
R4年度卒	勝本 樹	大阪ガス	投手				
	川畑 大地	マツゲン箕島硬式野球部	投手				
	松本 佳高	マツゲン箕島硬式野球部	外野手				

4年生進路

区分	ポジション	氏名	所属先	出身校	区分	ポジション	氏名	所属先	出身校
硬式	投手	池田 史音	徳島インディゴソックス	横浜商科大学	硬式	捕手	田邊 広大	東芝	常総学院
	投手	池本 琳	高知ファイティングドッグズ	東海大相模		内野手	門馬 功	SUBARU	東海大相模
	投手	伊藤 大稀	JR西日本	智辯和歌山		外野手	黒川 怜遠	セガサミー	星稜
	投手	篠原 颯斗	東邦ガス	徳島県立池田	外野手	森田 空	大和高田クラブ	智辯学園	
	投手	関戸 康介	日立製作所	大阪桐蔭	投手	澤田 太陽	キャプティ	桐蔭学園	
	投手	中嶋 太一	徳島インディゴソックス	桐光学園	学生コーチ	年見 亮汰	イトーキ	宮崎南	
投手	松田 隆之介	SUBARU	仙台育英学園	学生コーチ	小池 克英	イトーキ	明石商		
投手	フドー ジャッキー・イシメール	大和高田クラブ	京都大西	捕手	岩田 優真	ベスト	立花学園		

OB 会事務局からのお知らせ

◎ OB 総会について

令和8年度のOB総会は、12月12日（土）

横浜・健志台キャンパスでの開催を予定しています。

◎ OB 会年会費について

1. 銀行口座自動振り込み

令和8年度の引き落とし予定日は令和8年5月下旬を予定しています。

（自動振り込みをご利用の場合、手数料が発生いたしません）

自動振り込みの手続きがお済みでない方は、用紙をお送りいたしますので事務局までご連絡ください。

※千葉・埼玉・東京・神奈川・岐阜・香川の方については、支部年会費も合わせて引き落としとなります。

2. 指定口座への振り込み

お振り込みを希望される方は、右記の口座へお振り込みください。

※手数料をご負担願います。

[振込口座] みずほ銀行 世田谷支店 普通 0567034
口座名義 日本体育大学野球部 OB 会事務局

OB 役員名簿

会長	黒田 次郎(S61卒)				
副会長	大見 将(S63卒)	宮袋 誠(H2卒)	井上 力(H3卒)	池江 克敏(H4卒)	山内 泰幸(H7卒)
顧問	上平 雅史(S38卒)	小川 幸三(S43卒)	久郷 信義(S43卒)	伊東 与二(S51卒)	
運営委員	委員長 宮袋 誠(H2卒)	北海道:佐藤 静一(H4卒)	東北:高橋 吉教(H5卒)	関東:片桐 健一(H8卒)	東海:平松 忠親(H11卒)
	近畿:鶴田 充功(H2卒)	北信越:荒木 康(H10卒)	中国:三浦 謙二郎(H15卒)	四国:上田 修身(S60卒)	九州:畑尾 大輔(H5卒)
幹事	幹事長:佐藤 信行(H7卒) 副幹事長:山本貴代志(H14卒) 竹内 裕之(H3卒)				
監査役	大池 剛(H9卒)		石川 優志(H25卒)		

今後とも、日本体育大学野球部へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

イヤーブック作成にあたり記事をお寄せいただいたフリーライターの方、山本祐香様に深く感謝を申し上げます。また、野球部マネージャーの北條さんをはじめ野球部の皆様の御協力に感謝いたします。